

(6) 工学システム学類

工学システム学類(共通)

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|------------|------|-----|--------|------|------|-------|--------------------|---|---|
| FG06141 | 生物学序説 | 1 | 1.0 | 1-4 | | | | | | 奇数年度開講。 2019年度開講せず。 |
| FG06151 | 地学序説 | 1 | 1.0 | 1-4 | | | | | | 偶数年度開講 2019年度開講せず。 |
| FG10314 | 解析学I | 4 | 2.0 | 1 | 通年 | 集中 | | | 解析学の基本概念について述べた後、1変数関数の微分、積分法を中心に講述する。また適宜演習を行う。 | 必修科目 H30以前入学の工学システム学類生対象。理工学群開設の微積分1および微積分2を履修申請すること。微積分1(1単位)および微積分2(1単位)の単位取得をもって解析学I(2単位)を修得したことにする。 |
| FG10354 | 解析学II | 4 | 2.0 | 1 | 春BC | 火1,2 | 3A410 | 横田 茂 | 多変数関数の微分・積分を中心に講述する。また適宜演習を行う。 | 必修科目。H30以前入学の工学システム学類生対象。 |
| FG10384 | 解析学III | 4 | 2.0 | 1 | 春AB | 火3,4 | 3A405 | 長谷川 学, 澁谷 長史 | 微分、積分法を基礎に、主として常微分方程式の解法について講述する。また適宜演習を行う。 | 必修科目 H30以前入学の工学システム学類生対象。 |
| FG10414 | 力学I | 4 | 2.0 | 1 | 通年 | 集中 | | | 微分積分を履修したレベルでの力学であり、質点の運動、質点の力学、仕事とエネルギー、万有引力および相対運動までを含む。適宜演習および小テストを行う。 | 必修科目 H30以前入学の工学システム学類生対象。専門導入科目の力学Iおよび力学2を履修申請すること。力学I(1単位)および力学2(1単位)の単位取得をもって力学I(2単位)を修得したことにする。 |
| FG10454 | 力学II | 4 | 2.0 | 1 | 秋AB | 水5,6 | 3A405 | 境 有紀 | 力学Iを履修したことを前提とし、質点系の力学、剛体の力学、および初等解析力学までを含む。適宜演習も行う。 | 必修科目 H30以前入学の工学システム学類生対象。 |
| FG10484 | 電磁気学I | 4 | 2.0 | 1 | 通年 | 集中 | | | 静電界、電位、導体と電流、電流相互に働く力、静磁界、電磁誘導、マクスウェル方程式について、演習をまじえながら理解する。 | 必修科目 H30以前入学の工学システム学類生対象。専門導入科目の電磁気学1および電磁気学2を履修申請すること。電磁気学1(1単位)および電磁気学2(1単位)の単位取得をもって電磁気学I(2単位)を修得したことにする。 |
| FG10504 | 線形代数A | 4 | 3.0 | 1 | 春ABC | 木5,6 | 3L201 | 森田 昌彦 | 線形代数の基本的な事項について講義と演習を行う。内容は線形空間、ベクトルの線形独立と線形従属、基底と次元、線形写像と表現行列、行列の演算規則、行列の基本変形と階数、正則性と逆行列、連立一次方程式の解法と解の構造、行列式の定義と性質、行列式の展開と逆行列、Cramerの公式など。 | 必修科目。 H25以降H30以前入学の工学システム学類生対象。 |
| FG10513 | 物理学実験 | 3 | 3.0 | 1 | 通年 | 集中 | | 武若 聡, 松田 昭博, 鈴木 研悟 | 物理学に関する基本的な実験を行うとともに、工学システムの基礎となるべき実験技術を修得する。 | 必修科目 H30以前入学の工学システム学類生対象。 |
| FG10524 | 線形代数B | 4 | 3.0 | 1 | 秋ABC | 木5,6 | 3A209 | 森田 昌彦, 伊達 央 | 線形代数Aに引き続き、線形代数の基本的な事項についての講義と演習を行う。内容は、線形変換と基底変換、内積空間、正規直交基底、直交行列と直交変換、固有値、固有ベクトル、行列の対角化とJordanの標準形、固有空間、実対称行列の性質と実2次形式、行列多項式など。 | 必修科目 H25以降H30以前入学の工学システム学類生対象。 |
| FG10611 | 工学システム原論I | 1 | 1.0 | 1 | 春A | 火1,2 | 2H201 | 丸山 勉 | 工学システムの領域における基本的な考え方とセンスを身につける。そのために、学類で学習する分野を概観し、また技術者として考えるべき事柄を例示する。 | 必修科目 CDP G科目 H30以前入学の工学システム学類生対象。 |
| FG10631 | 工学システム原論II | 1 | 1.0 | 1 | 秋AB | 集中 | | 丸山 勉 | 日本の工学の現状について、いくつかの分野を選んで概説するとともに、技術と社会の関わりについて述べる。 | 必修科目 CDP G科目 H30以前入学の工学システム学類生対象。2019年度は学類長の許可を受けた者のみ履修可。 |
| FG10641 | 工学システム概論 | 1 | 1.0 | 1 | 春A | 火1,2 | 2H201 | 丸山 勉 | 工学システムの現状について幾つかの分野を選んで概説し、それ等を通して工学システムにおいて必要とされる基本的な考え方について学ぶ。 | H31以降入学生対象。 専門導入科目(事前登録対象) 工学システム原論I(FG10611)履修者は履修不可。 |
| FG10651 | 工学システム原論 | 1 | 1.0 | 2 | | | | | 工学システムに関わる技術者として必要とされる考え方について学ぶ。そのために学類で学習する分野を概観し、その中で技術者として考えるべき事柄を例示する。また、技術と社会の関わりについて述べる。 | H31以降入学生対象。 2019年度開講せず。 |
| FG10784 | 複素解析 | 4 | 2.0 | 2 | | | | | 複素関数論の講義と演習を行う。内容は複素数、正則関数、微分とコーシー・リーマンの関係式、積分とコーシーの積分公式、テーラ及びローラン展開、留数定理とその応用などである。 | H31以降入学生対象。 2019年度開講せず。 |
| FG10851 | 流体力学基礎 | 1 | 1.0 | 2 | | | | | | H31以降入学生対象。必修科目。 2019年度開講せず。 |
| FG10864 | 材料力学基礎 | 4 | 1.0 | 2 | | | | | | H31以降入学生対象。必修科目。 2019年度開講せず。 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-----------------|------|-----|--------|------|------|--------------|--|--|---|
| FG10874 | プログラミング序論A | 4 | 2.0 | 2 | | | | | | H31以降入学生対象。必修科目。 2019年度開講せず。 |
| FG10884 | プログラミング序論B | 4 | 1.0 | 2 | | | | | | H31以降入学生対象。必修科目。 2019年度開講せず。 |
| FG12011 | バイオシステム基礎 | 1 | 2.0 | 2 | 秋AB | 水1,2 | 3A304 | 山海 嘉之, 河本 浩明, 小池 朗, 鮎澤 聡 | ライフノベーションの観点から, システム生理学・医学・医療・生命科学とシステム工学・情報科学が創り出す新たな分野の基礎を習得する。 | |
| FG12021 | 材料学基礎 | 1 | 1.0 | 2 | | | | | | H31以降入学生対象。 2019年度開講せず。 |
| FG13403 | インターンシップ | 3 | 1.0 | 3 | 通年 | 応談 | | 望山 洋 | 企業, 官公庁の研究所, 非営利団体などの現場における工学系の就業体験を通じて自らの能力涵養, 適性の客観的評価を図ると共に, 将来の進路決定に役立てる。開始前に相手方と学類間で了解があることと終了後速やかに報告書を学類に提出することが単位取得の条件。 | 夏季春季休業期間中, 工学システム学類学生に限る GDP 担当: インターンシップ委員 |
| FG16011 | 宇宙工学 | 1 | 1.0 | 1-2 | 秋AB | 木4 | 3A204 | 横田 茂, 西岡 牧人, 中内 靖, 松島 亘志, 藤野 貴康, 有田 誠, 杉田 寛之, 富田 英一, 橋本 博文, 山浦 雄一 | 衛星などの宇宙応用, 打ち上げ用ロケットなどから将来の宇宙空間での生活環境まで宇宙科学の工学的側面を多数の専門家により講義形式で講述する。 | 世話人: 横田 |
| FG16043 | コンテンツ工学システム | 3 | 1.0 | 1-3 | 春ABC | 金6 | 3L206, 3L504 | 宇津呂 武仁, 鈴木 健嗣, 延原 肇, 星野 准一, 若槻 尚斗, 星野 聖 | コンテンツ工学技術(CG, VR・デバイス, 音楽・映像メディア, 自然言語処理, ウェブ検索サービスなど)とコンテンツ表現法の基礎を学んで, 独自のコンテンツを制作する一連のプロセスを体験します。工学, 芸術・デザイン, ビジネスなどの異分野の協調も重視します。 | コンテンツ工学システム'08~'13履修者は履修不可。 |
| FG16403 | アカデミック・インターンシップ | 3 | 1.0 | 3 | 通年 | 応談 | | 望山 洋 | 他大学, 官公庁の研究所, 非営利団体などの現場における工学系の研究体験を通じて自らの能力涵養, 適性の客観的評価を図ると共に, 将来の進路決定に役立てる。開始前に相手方と学類間で了解があることと終了後速やかに報告書を学類に提出することが単位取得の条件。 | 夏季春季休業期間中, 工学システム学類学生に限る GDP 担当: インターンシップ委員 |
| FG16421 | 建築制振技術特別講義 | 1 | 1.0 | 3-4 | 秋AB | 集中 | 3L207 | 丹羽 直幹 | 耐震から制震への流れの背景となる地震動と建物の揺れの関係, 耐震構造の限界などを踏まえ, 建築分野におけるパッシブ, アクティブ制震の原理とねらいを論じるとともに, 制震技術による建築構造の可能性について考察する。 | (工学システム特別講義II) 世話人: 境 |
| FG16497 | 研究者体験2019 | 7 | 1.0 | 1-3 | 通年 | 集中 | | 水谷 孝一, 善甫 啓一, 島田 康行, 大谷 奨, 松井 亨, 岡林 浩嗣, 上原 健一, 安信 誠二, 白川 友紀, 土井 裕人 | ARE(先導的研究者体験プログラム)に採択された研究課題を実施することを通じて, 研究者に必要なとされる論理的な文章の書き方や研究計画について学ぶ。実習では起業体験者の話を聞いて起業を身近なこととして捉えるとともに, 研究発表会に参加して研究遂行に必要な技術を習得するとともにコミュニケーション能力を伸ばす。 | ARE(先導的研究者体験プログラム)採択者 |
| FG16556 | 宇宙開発工学演習2019 | 6 | 2.0 | 2-3 | 通年 | 集中 | | 亀田 敏弘 | 小型衛星開発プロジェクトに携わり宇宙開発工学に必要な理論と技術を実践的に習得する。夏季に海外大学生とプロジェクトに関する意見交換を含む海外短期派遣を実施する。 | TOEFLまたはTOEICのスコアがあることが望ましい。 10/1-2/15 |
| FG18101 | 工学者のための倫理 | 1 | 1.0 | 4 | 春AB | 木5 | 3A402 | 山本 亨輔, 善甫 啓一, 田中 聖三 | 事例に基づいたグループディスカッションやロールプレイングを通じ, 工学者の持つべき倫理観・価値観について考える。 | 必修科目 GDP 実務経験教員 |
| FG18102 | 専門英語A | 2 | 1.0 | 2 | | | | | 工学システム学類生が1,2年で学ぶ数学や工学テーマを取り上げ, 主に英語による授業を行う。 | 必修科目。H31以降入学生対象。 2019年度開講せず。 |
| FG19338 | 特別卒業研究A | 8 | 2.0 | 3 | 春ABC | 随時 | | 工学システム学類各教員 | 指導教員の指導のもと, 研究計画を立案する。立案された計画をまとめた「研究計画書」を作成し, その内容を発表する。 | H25以降入学の早期卒業生対象 |
| FG19348 | 特別卒業研究B | 8 | 4.0 | 3 | 秋ABC | 随時 | | 工学システム学類各教員 | 研究計画書を踏まえて卒業研究を進める。卒業論文の題目を決定し, 登録する。卒業研究の研究内容を卒業論文にまとめ, 提出する。卒業研究発表会において, 卒業研究の研究内容を説明する。 | H25以降入学の早期卒業生対象 |

工学システム学類(知的工学システム)

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|------|------|-----|--------|------|------|-------|---------------------------|--|--|
| FG20144 | 複素解析 | 4 | 2.0 | 2 | 春AB | 水1,2 | 3A402 | 望山 洋, 廣川 暢一 | 複素関数論の講義と演習を行う。内容は複素数, 正則関数, 微分とコーシー・リーマンの関係式, 積分とコーシーの積分公式, テーラ及びローラン展開, 留数定理とその応用などである。 | H30年以前入学者対象。知的工学システム主専攻必修科目。 FG30144と同一。 知的システム主専攻のみ履修可。 |
| FG20151 | 電気回路 | 1 | 2.0 | 2 | 春BC | 水4,5 | 3A403 | 森田 昌彦, 大澤 博隆, 高橋 徹, 文字 秀明 | 電気・電子回路の基礎知識, 解析法等について講義する。線形受動素子, 正弦波交流と複素数表示, インピーダンスとアドミタンス, 共振回路, 相互誘導回路, ブリッジ回路, フィルタ, 一般回路の定理, 交流電力。 | H30年以前入学の知的工学システム主専攻, 機能工学システム主専攻の必修科目。 FG30151, FG44331, FG54331と同一。 実務経験教員 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|--------------|------|-----|--------|------|------|----------------------------|---------------------------|--|---|
| FG20154 | プログラミング序論I | 4 | 3.0 | 2 | 春ABC | 金1,2 | 3L201, 3L206, 3L207, 3L504 | 星野 聖, 宇津呂 武仁, 星野 准一, 北原 格 | 講義と演習を通じてC言語によるプログラミングの基礎を学ぶ。 | H25, H26入学者対象。FG30154と同一。主専攻必修科目。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG20164 | プログラミング序論II | 4 | 2.0 | 2 | 秋AB | 金3,4 | 3L202, 3L504 | 丸山 勉, 橋本 悠希 | C言語によるプログラミングを例として, 非数値的な処理のアルゴリズムやデータ構造について学ぶ。 | H25, H26入学者対象。FG30164と同一。主専攻必修科目。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG20174 | プログラミング序論III | 4 | 1.0 | 2 | 秋C | 金3,4 | 3L202, 3L504 | 亀田 能成 | 講義や演習を通じて, C言語のプログラミング技術やライブラリの使い方を学ぶ。 | H25, H26入学者対象。FG30174と同一。主専攻必修科目。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG20184 | プログラミング序論A | 4 | 2.0 | 2 | 春AB | 金1,2 | 3L201, 3L206, 3L207, 3L504 | 星野 聖, 宇津呂 武仁, 星野 准一 | 講義と演習を通じてC言語によるプログラミングの基礎を学ぶ。 | H27以降H30以前入学者対象。FG30184と同一。主専攻必修科目。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG20194 | プログラミング序論B | 4 | 1.0 | 2 | 春C | 金1,2 | 3L504, 3L201 | 北原 格 | 講義と演習を通じてC言語によるプログラミングの基礎を学ぶ。 | H27以降H30以前入学者対象。FG30194と同一。主専攻必修科目。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG20204 | プログラミング序論C | 4 | 2.0 | 2 | 秋AB | 金3,4 | 3L202, 3L504 | 丸山 勉, 橋本 悠希 | C言語によるプログラミングを例として, 非数値的な処理のアルゴリズムやデータ構造について学ぶ。 | H27以降H30以前入学者対象。FG30204と同一。主専攻必修科目。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG20214 | プログラミング序論D | 4 | 1.0 | 2 | 秋C | 金3,4 | 3L504, 3L202 | 亀田 能成 | 講義や演習を通じて, C言語のプログラミング技術やライブラリの使い方を学ぶ。 | H27以降H30以前入学者対象。FG30214と同一。主専攻必修科目。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG20222 | 専門英語B | 2 | 1.0 | 2 | | | | | 主に知的・機能工学システム主専攻生が1,2年で学ぶ工学テーマを取り上げ, 英語による | H31以降入学生対象。2019年度開講せず。主専攻必修科目。 |
| FG20232 | 専門英語演習 | 2 | 1.0 | 3 | | | | | 英語運用能力の測定手段であるTOEIC対策用の教材を用い, リスニング, 読解, 語彙, 語法, 読解等の能力の強化を行う。 | H31以降入学生対象。2019年度開講せず。主専攻必修科目。 |
| FG21261 | 機械設計 | 1 | 2.0 | 2 | 秋BC | 水3,4 | 3L201 | 岩田 洋夫, 山口 友之, 堀 三計 | 機械システムの設計と実装の手法について紹介する。機械図面, 機械要素, 運動伝達装置などについて説明する。 | FG31261, FG41641, FG51641と同一。機械設計工学(FG41621, FG51621)履修者は履修不可。 |
| FG21271 | 計測工学 | 1 | 2.0 | 2 | 春BC | 木5,6 | 3A304 | 伊達 央, 文字 秀明 | 工業計測の基礎。SI単位系, 各種物理量・工業量(長さ, 変位, 圧力, 流量, 時間, 温度, 電圧, 電流など)の計測原理と計測装置。計測して得た信号の利用法など。 | 計測工学(FG41231, FG51231)単位修得者は履修不可。FG31271, FG41241, FG51241と同一。 |
| FG21311 | フィードバック制御 | 1 | 2.0 | 2 | 秋BC | 木5,6 | 3A301 | 望山 洋 | システム制御の基礎的思考から始め, 動的要素のモデル化及び特性の表現方法(伝達関数)フィードバックの概念, 制御系の解析方法(周波数特性, 安定性)などを学ぶ。 | システム制御工学I(FG21251, FG31251), システム制御工学B(FG21301, FG31301)履修者, システム制御工学(FG41211, FG51211)履修者は履修不可。FG31311, FG41251, FG51251と同一。 |
| FG21321 | 線形システム制御 | 1 | 2.0 | 2 | 秋AB | 金5,6 | 3L202 | 坪内 孝司 | 状態方程式に基づく制御理論と制御システムの設計法について述べる。動的システムの表現法, 状態フィードバック制御, 状態オブザーバ, 動的出力フィードバック制御, 制御系の実装など。 | システム制御工学II(FG35361), システム制御工学A(FG21291, FG31291)履修者は履修不可。FG31321と同一。 |
| FG21331 | 信頼性工学 | 1 | 2.0 | 3 | 秋AB | 火3,4 | 3L201 | 岡島 敬一 | 機械や構造物をシステム全体としてできるだけ低コストで正常に機能させることを目的として, 確率・統計論に基づいて各構成要素やシステムが正常に機能する性質(信頼性)を定量的に評価し, 設計, 製造, 運用へ反映させる手法について講義する。 | FG31331, FG41581, FG51581と同一。 |
| FG22291 | メカトロニクス機構解析 | 1 | 2.0 | 2 | 秋AB | 水5,6 | 3L201, 3L504 | 相山 康道, 矢野 博明 | 機械システム設計に欠かせない, 機械の構造を表すモデル(機構)の種類やそれらの基礎的な動作解析手法について解説する。また, メカトロニクスに題材を絞り, 材料力学, 材料学の基礎を学ぶ。部材のたわみの計算, 軽量でたわみを小さくする方法など。併せて演習も行う。 | メカトロニクス材料概論(FG22281, FG32281), メカトロニクス機構学FG21281, FG31281)履修者は履修不可。FG32291と同一。 |
| FG22301 | 材料学基礎 | 1 | 1.0 | 2 | 春C | 金3,4 | 3A204 | 新宅 勇一, 河井 昌道 | 金属材料の基礎的な反応における結晶組織の変化を理解するために, 代表的な結晶構造と状態図について概説する。 | 材料学I(FG42231, FG52231)履修者は履修不可。H30以前入学者対象。FG32301, FG42261, FG52261と同一。 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|---------------|------|-----|--------|------|------|--------------|----------------------------|--|---|
| FG23381 | 研究・開発原論 | 1 | 2.0 | 3 | 秋AB | 木5,6 | 3L202 | 水谷 孝一, 石川 幸雄, 篠田 芳明 | 工学システム学類の学生が卒業後(含修士修了後)に従事するであろうと思われる国の機関, 民間企業等の研究・開発体制の概要を平易に解説する。この際, 数回の事例研究を実習することによって理解の促進を図るとともに, 研究環境整備や工業所有権の知的財産権の重要性と問題点等についても言及する。一部, ビデオ教材の使用や部外講師による講演を実施する。 | FG33381と同一。 |
| FG23411 | 情報通信システム論I | 1 | 1.0 | 3・4 | 春ABC | 集中 | 3A209 | 花岡 悟一郎, 岡田 賢治, 田中 宏和, 滝田 亘 | 移動通信の技術, 誤り訂正符号, 暗号, 情報技術に関する知的財産権など, 情報通信システムに関するいくつかのトピックスについて, 学外の研究者・技術者を招き講義を行う。 | FG33411と同一。 世話人:古賀 |
| FG23471 | 情報通信システム論II | 1 | 1.0 | 3・4 | 秋AB | 集中 | 3A203 | 片桐 祥雅, 桑木 伸夫, 柳原 広昌, 山崎 浩輔 | 光ファイバ, マルチメディア情報処理, 無線アンテナ, 生体における情報通信など, 情報通信に関するいくつかのトピックスについて, 学外の研究者・技術者を招き講義を行う。 | 世話人:古賀 |
| FG24211 | 確率統計 | 1 | 2.0 | 2 | 春AB | 金5,6 | 3A202 | 古賀 弘樹 | 工学システムを解析する上で有力な道具となる確率論と統計学の基礎を講義する。 | H30以前入学の環境開発工学専攻, エネルギー工学専攻の必修科目 FG34211, FG40141, FG50141と同一。 |
| FG24221 | 論理回路 | 1 | 2.0 | 2 | 秋AB | 金1,2 | 3A403 | 宇津呂 武仁 | 目的:論理回路の解析と設計法について講述する。 内容:ブール代数, 組合せ回路, 記憶素子, 順序回路, 計算機各種構成要素, 論理システム。 | FG34221と同一。 |
| FG24241 | 離散数学 | 1 | 2.0 | 2 | 秋AB | 火3,4 | 3A312 | 延原 肇, 河合 新 | 工学的なシステムを構築する上で重要な基礎となる離散数学を講義する。集合, 論理, グラフ, 代数系, 関係, 束論の基礎および応用についての知識を, 講義および演習を通して身につける。 | FG34241と同一。 |
| FG24284 | 数値解析 | 4 | 2.0 | 3 | 秋AB | 木1,2 | 3L202, 3L504 | | 連立一次方程式, 常微分方程式, 偏微分方程式の計算機による解析方法と, その誤差解析を解説する。また演習により実際にプログラミングをおこなう。 | FG34284と同一。 |
| FG24301 | 知的情報処理 | 1 | 2.0 | 3 | 秋AB | 木3,4 | 3L201 | 森田 昌彦, 澁谷 長史 | 生体における情報処理システムとして脳の認識系・記憶系・運動系などを取り上げ概説する。また, 知的情報処理の一つとして機械学習の基礎について講義する。 | FG34301と同一。 |
| FG24331 | デジタル信号処理 | 1 | 2.0 | 3 | 春AB | 金1,2 | 3L202 | 若槻 尚斗 | 信号処理の基礎理論と代表的な算法について概説する。主な内容は, 線形システムの考え方, 信号の時間・周波数表現, サンプリング定理, フーリエ変換, Z変換, FFT, デジタルフィルタ等。 | FG34331と同一。 |
| FG24341 | 電子回路 | 1 | 2.0 | 3 | 春AB | 月1,2 | 3L201 | 水谷 孝一, 前田 祐佳 | アナログ電子回路に関する講義(一部演習)を行う。主な内容は, ダイオード, トランジスタ, FETの素子特性, 小信号増幅回路, 帰還回路, 電力増幅回路, OPアンプ回路, 発振回路など。 | FG34341, FG54731と同一。 |
| FG24361 | システム最適化 | 1 | 2.0 | 3 | 春AB | 火1,2 | 3L202 | 遠藤 靖典 | システムの表現, 評価手法, 制約条件が与えられたとき, 目的関数を最適化するための基本的な数論的技法(LP, NLP, 組み合わせ最適化など)について講義する。 | FG34361と同一。 |
| FG24371 | 画像処理 | 1 | 2.0 | 3 | 秋AB | 月1,2 | 3L202, 3L504 | 北原 格 | 画像処理の基礎について述べる。画像の入力・記述, 図形の表現・変換・表示について学ぶ。 | FG34371と同一。 実務経験教員 |
| FG24381 | ヒューマンインタフェース | 1 | 2.0 | 3 | 春AB | 木1,2 | 3A312 | 岩田 洋夫 | ヒューマンインタフェースとは人間を中心とした工学システムのあり方を考える学問である。人間のモデル化手法を紹介した後で, 各種のインタフェースのシステム構築法について論じる。 | FG34381と同一。 |
| FG24391 | 人工知能 | 1 | 2.0 | 3 | 春AB | 水1,2 | 3L201 | 中内 靖 | 人工知能に関する基本的な事項について概説する。問題の表現と解法, 問題解決のための探索法, ヒューリスティクス, 記号論理と推論, 知識表現などに関して, 手法の応用を含めて述べる。 | FG34391と同一。 |
| FG24421 | 情報理論 | 1 | 2.0 | 3 | 春AB | 火5,6 | 3L201 | 古賀 弘樹 | 情報の圧縮, 伝送, 暗号化などの概念をシャノン理論に基づいて解説する。 | FG34421と同一。 |
| FG24434 | システムダイナミックス | 4 | 2.0 | 3 | 秋AB | 火1,2 | 3L202 | 藪野 浩司 | 初年級の数学, 物理学をベースに, 力学系の取り扱いについて講述する。また適宜演習を行う。 | FG34434と同一。 実務経験教員 H17年度「モデリング基礎」履修者, および H24年度以前開講のシステムダイナミックス (FG24354, FG34354) 履修者は履修不可。 |
| FG24481 | 通信工学 | 1 | 2.0 | 3 | 春AB | 木3,4 | 3L201 | 海老原 格, 水谷 孝一 | 様々な技術の融合体である通信システムに着目し, その要素技術であるチャネルの特性, 伝送方式, 伝送制御, 信号処理について講述する。 | FG34481と同一。 |
| FG24491 | コンピュータとネットワーク | 1 | 2.0 | 2 | 秋AB | 火1,2 | 3L201 | 丸山 勉 | コンピュータの動作原理と各構成要素の構造/動作を学ぶ。またコンピュータを管理するソフトウェアであるオペレーティングシステム, および複数のコンピュータを接続するネットワークの構造と動作についても学ぶ。 | コンピュータアーキテクチャ (FG24311, FG34311) とOSとネットワーク (FG24334) の単位をともに修得した者, およびH30年度コンピュータアーキテクチャの単位を修得した者は履修不可。 FG34491と同一。 実務経験教員 |
| FG24711 | データ構造とアルゴリズム | 1 | 2.0 | 3 | 春AB | 水3,4 | 3L201 | 亀田 能成 | 非数値的な処理のプログラミングにおいて, 様々なデータ構造とアルゴリズムにおける処理の方法とその効率について学ぶ。 | FG34711と同一。 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|---------------|------|-----|--------|-----------|-------------|--|---|---|--|
| FG24781 | 応用数学B | 1 | 1.0 | 2 | 秋BC | 木2 | 3A209 | 高安 亮紀, 松田 昭博 | 工学へ応用される数学, いわゆる応用数学の中から, 偏微分方程式を中心に講述する。固体や流体の力学, その工学応用分野の基礎方程式が偏微分方程式で与えられているため, 偏微分方程式は応用上も極めて重要である。事前に「解析学I」「解析学II」「解析学III」を履修済であることが望ましいが, 既習事項は本講義内で適宜補うため, 必須ではない。 | 応用数学I (FG24321, FG34321), 応用数学 (FG44341, FG54341) 履修者は履修不可。FG34781, FG44391, FG54391と同一。 |
| FG24791 | 応用数学A | 1 | 2.0 | 2 | 秋A 秋BC | 木1, 2 木1 | 3A209 | 長谷川 学, 金川 哲也 | 理工学の諸分野で必要とされる数学的手法であるラプラス変換, フーリエ解析とその応用について講義する。 | 応用数学I (FG24321, FG34321) および応用数学 (FG24731, FG34731, FG44341, FG54341) 履修者は履修不可。FG34791, FG44381, FG54381と同一。 |
| FG25332 | 専門英語A | 2 | 1.0 | 3 | 春AB | 木6 | 3L206 | 堀 憲之, 浅井 健彦 | 工学システム学類生が1, 2年で学ぶ数学や工学テーマを取り上げ, 主に英語による授業を行う。 | 専門英語II (FG25322, FG35322, FG45702, FG55702) 履修者は履修不可。H30以前入学者対象。FG35332, FG45332, FG55332と同一。 |
| FG25342 | 専門英語B | 2 | 1.0 | 3 | 秋AB | 水3 | 3A213 | 堀 憲之, ブエンテス サンドラ ミレイナ | 主に知的・機能工学システム専攻生が1, 2年で学ぶ工学テーマを取り上げ, 英語による授業を行う。 | 専門英語II (FG25322, FG35322) 履修者は履修不可。H30以前入学者対象。FG35342と同一。 |
| FG25361 | パターン認識 | 1 | 2.0 | 3 | 秋AB | 金1, 2 | 3L201 | 掛谷 英紀 | パターン認識の基本的手法(幾何的手法, 統計的手法, 学習アルゴリズム, 時系列パターンの認識など)を順に解説する。 | 実務経験教員 |
| FG25374 | 応用プログラミング | 4 | 2.0 | 3 | 秋BC | 水1, 2 | 3L504 | 星野 准一 | オブジェクト指向によるプログラミングの基本理念を, プログラミング言語Javaの講義と演習により修得させる。 | 実務経験教員 |
| FG25382 | 専門英語演習 | 2 | 1.0 | 3 | 春AB | 水5 | 3L504 | 中内 靖, 山口 友之 | 英語運用能力の測定手段であるTOEIC対策用の教材を用い, リスニング, 読解, 語法, 読解等の能力の強化を行う。 | H30以前入学者対象。専門英語演習 (FG25352, FG35352) 単位修得者は履修不可。FG35382と同一。 |
| FG29173 | 知的工学システム専門実験 | 3 | 4.5 | 3 | 通年 | 金3-5 | 3L103, 3L108, 3L204, 3L303 | 水谷 孝一, 堀憲之, 矢野 博明, 北原 格, 若槻 尚斗, 延原 肇 | ●制御系設計, ●システムの最適化, ●センサとデジタル信号処理, ●センサとアナログ信号処理, ●画像処理, ●メカトロニクスなどに関する実験。 | 主専攻必修科目。FG39173と同一。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。平成21年度以前の主専攻実験Iと読替え可能。世話人:水谷 |
| FG29183 | 知的工学システム応用実験 | 3 | 1.5 | 3 | 秋ABC | 火5, 6 | 3L103, 3L108, 3L203, 3L204, 3L303, 3L205 | 水谷 孝一, 丸山 勉, 相山 康道, 望山 洋, 鈴木 健嗣, 海老原 格, 前田 祐佳 | 複数の実験テーマから一つを選択して, 秋学期を通してテーマ毎にこれまでに修得した広範囲な工学知識を基に, 具体的なシステムをデザインする能力を養う。そして, デザインしたシステムを複数のメンバーと協調して完成させる過程で, チームとして特定のプロジェクトをマネジメントする力を養成する。最終的に提出される課題(レポートやプレゼンテーション)により実験成果を評価する。 ●FPGAによるハードウェア設計, ●ロボットシステム, ●組込システムによるハードウェア設計, ●跳躍機構のデザイン, ●上肢の運動特性の計測, ●コミュニケーションシステムの創作 | FG39183と同一。主専攻必修科目。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。平成21年度以前の主専攻実験IIと読替え可能。世話人:水谷 |
| FG29193 | 知的工学システム基礎実験A | 3 | 2.0 | 2 | 春ABC | 月3-5 | 3L103, 3L203, 3L204, 3L205 | 中内 靖, 藪野 浩司, 善甫 啓一, 星野 准一, 澁谷 長史, 大澤 博隆, 山口 友之, 橋本 悠希 | 動的システム, 回路とコンピュータ, センサとアクチュエータ, 機構などの基礎に関する実験。 | H25以降入学者対象。FG39193と同一。主専攻必修科目。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。世話人:中内 |
| FG29203 | 知的工学システム基礎実験B | 3 | 2.0 | 2 | 秋ABC | 月3-5 | 3L103, 3L203, 3L204, 3L205 | 中内 靖, 藪野 浩司, 善甫 啓一, 星野 准一, 澁谷 長史, 大澤 博隆, 山口 友之, 橋本 悠希 | 動的システム, 回路とコンピュータ, センサとアクチュエータ, 機構などの基礎に関する実験。 | H25以降入学者対象。FG39203と同一。主専攻必修科目。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。世話人:中内 |
| FG29918 | 卒業研究I | 8 | 2.0 | 4 | 通年 | 随時 | | 工学システム学類各教員 | 指導教員の指導のもと, 研究計画を立案する。立案された計画をまとめた「研究計画書」を作成し, その内容を発表する。 | H24以前入学者対象。FG39918, FG49918, FG59918と同一。主専攻必修科目。 |
| FG29928 | 卒業研究II | 8 | 3.0 | 4 | 通年 | 随時 | | 工学システム学類各教員 | 研究計画書を踏まえて卒業研究を進める。卒業論文の題目を決定し, 登録する。 | H24以前入学者対象。FG39928, FG49928, FG59928と同一。主専攻必修科目。 |
| FG29938 | 卒業研究III | 8 | 3.0 | 4 | 通年 | 随時 | | 工学システム学類各教員 | 卒業研究の研究内容を卒業論文にまとめ提出する。卒業研究発表会において, 卒業研究の研究内容を説明する。 | H24以前入学者対象。FG39938, FG49938, FG59938と同一。主専攻必修科目。 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-------|------|-----|--------|------|-----|----|-------------|---|--|
| FG29948 | 卒業研究A | 8 | 4.0 | 4 | 春ABC | 随時 | | 工学システム学類各教員 | 指導教員の指導のもと、研究計画を立案する。立案された計画をまとめた「研究計画書」を作成し、その内容を発表する。 | H25以降入学者対象。FG39948, FG49948, FG59948と同一。主専攻必修科目。(本科目または卒業研究aを履修) |
| FG29958 | 卒業研究B | 8 | 4.0 | 4 | 秋ABC | 随時 | | 工学システム学類各教員 | 研究計画書を踏まえて卒業研究を進める。卒業論文の題目を決定し、登録する。卒業研究の研究内容を卒業論文にまとめ、提出する。卒業研究発表会において、卒業研究の研究内容を説明する。 | H25以降入学者対象。FG39958, FG49958, FG59958と同一。主専攻必修科目。(本科目または卒業研究bを履修) |
| FG29968 | 卒業研究a | 8 | 4.0 | 4 | 秋ABC | 随時 | | 工学システム学類各教員 | 指導教員の指導のもと、研究計画を立案する。立案された計画をまとめた「研究計画書」を作成し、その内容を発表する。 | H25以降入学者対象。学類長が認めたもの。FG39968, FG49968, FG59968と同一。主専攻必修科目。(本科目または卒業研究Aを履修) |
| FG29978 | 卒業研究b | 8 | 4.0 | 4 | 春ABC | 随時 | | 工学システム学類各教員 | 研究計画書を踏まえて卒業研究を進める。卒業論文の題目を決定し、登録する。卒業研究の研究内容を卒業論文にまとめ、提出する。卒業研究発表会において、卒業研究の研究内容を説明する。 | H25以降入学者対象。学類長が認めたもの。FG39978, FG49978, FG59978と同一。主専攻必修科目。(本科目または卒業研究Bを履修) |

工学システム学類(機能工学システム)

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|--------------|------|-----|--------|------|------|----------------------------|---------------------------|--|--|
| FG30144 | 複素解析 | 4 | 2.0 | 2 | 春AB | 水1,2 | 3A402 | 望山 洋, 廣川 暢一 | 複素関数論の講義と演習を行う。内容は複素数, 正則関数, 微分とコーシー・リーマンの関係式, 積分とコーシーの積分公式, テーラー及びローラン展開, 留数定理とその応用などである。 | H30以前入学者対象。機能工学システム主専攻必修科目。FG20144と同一。機能システム主専攻のみ履修可。 |
| FG30151 | 電気回路 | 1 | 2.0 | 2 | 春BC | 水4,5 | 3A403 | 森田 昌彦, 大澤 博隆, 高橋 徹, 文字 秀明 | 電気・電子回路の基礎知識, 解析法等について講義する。線形受動素子, 正弦波交流と複素数表示, インピーダンスとアドミタンス, 共振回路, 相互誘導回路, ブリッジ回路, フィルタ, 一般回路の定理, 交流電力。 | H30年以前入学の知的工学システム主専攻, 機能工学システム主専攻の必修科目。FG20151, FG44331, FG54331と同一。実務経験教員所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG30154 | プログラミング序論I | 4 | 3.0 | 2 | 春ABC | 金1,2 | 3L201, 3L206, 3L207, 3L504 | 星野 聖, 宇津呂 武仁, 星野 准一, 北原 格 | 講義と演習を通じてC言語によるプログラミングの基礎を学ぶ。 | H25, H26入学者対象。FG20154と同一。主専攻必修科目。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG30164 | プログラミング序論II | 4 | 2.0 | 2 | 秋AB | 金3,4 | 3L202, 3L504 | 丸山 勉, 橋本 悠希 | C言語によるプログラミングを例として, 非数値的な処理のアルゴリズムやデータ構造について学ぶ。 | H25, H26入学者対象。FG20164と同一。主専攻必修科目。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG30174 | プログラミング序論III | 4 | 1.0 | 2 | 秋C | 金3,4 | 3L202, 3L504 | 亀田 能成 | 講義や演習を通じて, C言語のプログラミング技術やライブラリの使い方を学ぶ。 | H25, H26入学者対象。FG20174と同一。主専攻必修科目。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG30184 | プログラミング序論A | 4 | 2.0 | 2 | 春AB | 金1,2 | 3L201, 3L206, 3L207, 3L504 | 星野 聖, 宇津呂 武仁, 星野 准一 | 講義と演習を通じてC言語によるプログラミングの基礎を学ぶ。 | H27以降H30以前入学者対象。FG20184と同一。主専攻必修科目。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG30194 | プログラミング序論B | 4 | 1.0 | 2 | 春C | 金1,2 | 3L504, 3L201 | 北原 格 | 講義と演習を通じてC言語によるプログラミングの基礎を学ぶ。 | H27以降H30以前入学者対象。FG20194と同一。主専攻必修科目。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG30204 | プログラミング序論C | 4 | 2.0 | 2 | 秋AB | 金3,4 | 3L202, 3L504 | 丸山 勉, 橋本 悠希 | C言語によるプログラミングを例として, 非数値的な処理のアルゴリズムやデータ構造について学ぶ。 | H27以降H30以前入学者対象。FG20204と同一。主専攻必修科目。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG30214 | プログラミング序論D | 4 | 1.0 | 2 | 秋C | 金3,4 | 3L504, 3L202 | 亀田 能成 | 講義や演習を通じて, C言語のプログラミング技術やライブラリの使い方を学ぶ。 | H27以降H30以前入学者対象。FG20214と同一。主専攻必修科目。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG30222 | 専門英語B | 2 | 1.0 | 2 | | | | | 主に知的・機能工学システム主専攻生が1,2年で学ぶ工学テーマを取り上げ, 英語による授業を行う。 | 主専攻必修科目。H31以降入学生対象。2019年度開講せず。主専攻必修科目。 |
| FG30232 | 専門英語演習 | 2 | 1.0 | 3 | | | | | 英語運用能力の測定手段であるTOEIC対策用の教材を用い, リスニング, 語彙, 語法, 読解等の能力の強化を行う。 | H31以降入学生対象。2019年度開講せず。主専攻必修科目。 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-------------|------|-----|--------|------|------|--------------|----------------------------|--|--|
| FG31261 | 機械設計 | 1 | 2.0 | 2 | 秋BC | 水3,4 | 3L201 | 岩田 洋夫, 山口友之, 堀 三計 | 機械システムの設計と実装の手法について紹介する。機械図面, 機械要素, 運動伝達装置などについて説明する。 | FG21261, FG41641, FG51641と同一。 機械設計工学 (FG41621, FG51621)履修者は履修不可。 |
| FG31271 | 計測工学 | 1 | 2.0 | 2 | 春BC | 木5,6 | 3A304 | 伊達 央, 文字 秀明 | 工業計測の基礎。SI単位系, 各種物理量・工業量(長さ, 変位, 圧力, 流量, 時間, 温度, 電圧, 電流など)の計測原理と計測装置。計測して得た信号の利用方法など。 | 計測工学 (FG41231, FG51231) 単位修得者は履修不可。 FG21271, FG41241, FG51241と同一。 |
| FG31311 | フィードバック制御 | 1 | 2.0 | 2 | 秋BC | 木5,6 | 3A301 | 望山 洋 | システム制御の基礎的考え方から始め, 動的要素のモデル化及び特性の表現方法(伝達関数)フィードバックの概念, 制御系の解析方法(周波数特性, 安定性)などを学ぶ。 | システム制御工学I (FG21251, FG31251), システム制御工学B (FG21301, FG31301)履修者, システム制御工学 (FG41211, FG51211)履修者は履修不可。 FG21311, FG41251, FG51251と同一。 |
| FG31321 | 線形システム制御 | 1 | 2.0 | 2 | 秋AB | 金5,6 | 3L202 | 坪内 孝司 | 状態方程式に基づく制御理論と制御システムの設計法について述べる。動的システムの表現法, 状態フィードバック制御, 状態オブザーバ, 動的出力フィードバック制御, 制御系の実装など。 | システム制御工学II (FG35361), システム制御工学A (FG21291, FG31291)履修者は履修不可。 FG21321と同一。 |
| FG31331 | 信頼性工学 | 1 | 2.0 | 3 | 秋AB | 火3,4 | 3L201 | 岡島 敬一 | 機械や構造物をシステム全体としてできるだけ低コストで正常に機能させることを目的として, 確率・統計論に基づいて各構成要素やシステムが正常に機能する性質(信頼性)を定量的に評価し, 設計, 製造, 運用へ反映させる手法について講義する。 | FG21331, FG41581, FG51581と同一。 |
| FG32291 | メカトロニクス機構解析 | 1 | 2.0 | 2 | 秋AB | 水5,6 | 3L201, 3L504 | 相山 康道, 矢野 博明 | 機械システム設計に欠かせない, 機械の構造を表すモデル(機構)の種類やそれらの基礎的な動作解析手法について解説する。また, メカトロニクスに題材を絞り, 材料力学, 材料学の基礎を学ぶ。部材のたわみの計算, 軽量でたわみを小さくする方法など。併せて演習も行う。 | メカトロニクス材料概論 (FG22281, FG32281), メカトロニクス機構学FG21281, FG31281)履修者は履修不可。 FG22291と同一。 |
| FG32301 | 材料学基礎 | 1 | 1.0 | 2 | 春C | 金3,4 | 3A204 | 新宅 勇一, 河井 昌道 | 金属材料の基礎的な反応における結晶組織の変化を理解するために, 代表的な結晶構造と状態図について概説する。 | 材料学I (FG42231, FG52231)履修者は履修不可。H30以前入学者対象。 FG22301, FG42261, FG52261と同一。 |
| FG33381 | 研究・開発原論 | 1 | 2.0 | 3 | 秋AB | 木5,6 | 3L202 | 水谷 孝一, 石川 幸雄, 篠田 芳明 | 工学システム学類の学生が卒業後(含修士修了後)に従事するであろうと思われる国の機関, 民間企業等の研究・開発体制の概要を平易に解説する。この際, 数回の事例研究を実習することによって理解の促進を図るとともに, 研究環境整備や工業所有権の知的財産権の重要性と問題点等についても言及する。一部, ビデオ教材の使用や部外講師による講演を実施する。 | FG23381と同一。 |
| FG33411 | 情報通信システム論I | 1 | 1.0 | 3・4 | 春ABC | 集中 | 3A209 | 花岡 悟一郎, 岡田 賢治, 田中 宏和, 滝田 亘 | 移動通信の技術, 誤り訂正符号, 暗号, 情報技術に関する知的財産権など, 情報通信システムに関するいくつかのトピックスについて, 学外の研究者・技術者を招き講義を行う。 | FG23411と同一。 世話人:古賀 |
| FG34211 | 確率統計 | 1 | 2.0 | 2 | 春AB | 金5,6 | 3A202 | 古賀 弘樹 | 工学システムを解析する上で有力な道具となる確率論と統計学の基礎を講義する。 | H30以前入学の環境開発工学主専攻, エネルギー工学主専攻の必修科目 FG24211, FG40141, FG50141と同一。 |
| FG34221 | 論理回路 | 1 | 2.0 | 2 | 秋AB | 金1,2 | 3A403 | 宇津呂 武仁 | 目的:論理回路の解析と設計法について講述する。内容:ブール代数, 組合せ回路, 記憶素子, 順序回路, 計算機各種構成要素, 論理システム。 | FG24221と同一。 |
| FG34241 | 離散数学 | 1 | 2.0 | 2 | 秋AB | 火3,4 | 3A312 | 延原 肇, 河合 新 | 工学的なシステムを構築する上で重要な基礎となる離散数学を講義する。集合, 論理, グラフ, 代数系, 関係, 束論の基礎および応用についての知識を, 講義および演習を通して身につける。 | FG24241と同一。 |
| FG34284 | 数値解析 | 4 | 2.0 | 3 | 秋AB | 木1,2 | 3L202, 3L504 | | 連立一次方程式, 常微分方程式, 偏微分方程式の計算機による解析方法と, その誤差解析を解説する。また演習により実際にプログラミングをおこなう。 | FG24284と同一。 |
| FG34301 | 知的情報処理 | 1 | 2.0 | 3 | 秋AB | 木3,4 | 3L201 | 森田 昌彦, 渋谷 長史 | 生体における情報処理システムとして脳の認識系・記憶系・運動系などを取り上げ概説する。また, 知的情報処理の一つとして機械学習の基礎について講義する。 | FG24301と同一。 |
| FG34331 | デジタル信号処理 | 1 | 2.0 | 3 | 春AB | 金1,2 | 3L202 | 若槻 尚斗 | 信号処理の基礎理論と代表的な算法について概説する。主な内容は, 線形システムの考え方, 信号の時間・周波数表現, サンプリング定理, フーリエ変換, Z変換, FFT, デジタルフィルタ等。 | FG24331と同一。 |
| FG34341 | 電子回路 | 1 | 2.0 | 3 | 春AB | 月1,2 | 3L201 | 水谷 孝一, 前田 祐佳 | アナログ電子回路に関する講義(一部演習)を行う。主な内容は, ダイオード, トランジスタ, FETの素子特性, 小信号増幅回路, 帰還回路, 電力増幅回路, OPアンプ回路, 発振回路など。 | FG24341, FG54731と同一。 |
| FG34361 | システム最適化 | 1 | 2.0 | 3 | 春AB | 火1,2 | 3L202 | 遠藤 靖典 | システムの表現, 評価手法, 制約条件が与えられたとき, 目的関数を最適化するための基本的な数理的技法(LP, NLP, 組み合わせ最適化など)について講義する。 | FG24361と同一。 |
| FG34371 | 画像処理 | 1 | 2.0 | 3 | 秋AB | 月1,2 | 3L202, 3L504 | 北原 格 | 画像処理の基礎について述べる。画像の入力・記述。図形の表現・変換・表示について学ぶ。 | FG24371と同一。 実務経験教員 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|---------------|------|-----|--------|-----------|------------|-------------------------------------|---------------------------------------|---|--|
| FG34381 | ヒューマンインタフェース | 1 | 2.0 | 3 | 春AB | 木1,2 | 3A312 | 岩田 洋夫 | ヒューマンインタフェースとは人間を中心とした工学システムのあり方を考える学問である。人間のモデル化手法を紹介した後、各種のインタフェースのシステム構築法について論じる。 | FG24381と同一。 |
| FG34391 | 人工知能 | 1 | 2.0 | 3 | 春AB | 水1,2 | 3L201 | 中内 靖 | 人工知能に関する基本的な事項について概説する。問題の表現と解法、問題解決のための探索法、ヒューリスティクス、記号論理と推論、知識表現などに関して、手法の応用を含めて述べる。 | FG24391と同一。 |
| FG34421 | 情報理論 | 1 | 2.0 | 3 | 春AB | 火5,6 | 3L201 | 古賀 弘樹 | 情報の圧縮、伝送、暗号化などの概念をシャノン理論に基づいて解説する。 | FG24421と同一。 |
| FG34434 | システムダイナミックス | 4 | 2.0 | 3 | 秋AB | 火1,2 | 3L202 | 藪野 浩司 | 初年級の数学、物理学をベースに、力学系の取り扱いについて講述する。また適宜演習を行う。 | FG24434と同一。 実務経験教員 H17年度「モデリング基礎」履修者、および H24年度以前開講のシステムダイナミックス (FG24354, FG34354) 履修者は履修不可。 |
| FG34481 | 通信工学 | 1 | 2.0 | 3 | 春AB | 木3,4 | 3L201 | 海老原 格, 水谷 孝一 | 様々な技術の融合体である通信システムに着目し、その要素技術であるチャネルの特性、伝送方式、伝送制御、信号処理について講述する。 | FG24481と同一。 |
| FG34491 | コンピュータとネットワーク | 1 | 2.0 | 2 | 秋AB | 火1,2 | 3L201 | 丸山 勉 | コンピュータの動作原理と各構成要素の構造/動作を学ぶ。またコンピュータを管理するソフトウェアであるオペレーティングシステム、および複数のコンピュータを接続するネットワークの構造と動作についても学ぶ。 | コンピュータアーキテクチャ (FG24311, FG34311) と OS と ネットワーク (FG24334) の単位をともに修得した者、および H30 年度コンピュータアーキテクチャの単位を修得した者は履修不可。FG24491 と同一。 実務経験教員 |
| FG34711 | データ構造とアルゴリズム | 1 | 2.0 | 3 | 春AB | 水3,4 | 3L201 | 亀田 能成 | 非数値的な処理のプログラミングにおいて、様々なデータ構造とアルゴリズムにおける処理の方法とその効率について学ぶ。 | FG24711 と同一。 |
| FG34741 | メカトロニクス機能要素概論 | 1 | 2.0 | 3 | 秋AB | 水4,5 | 3L207 | 坪内 孝司 | メカトロニクス技術をサポートする機能技術要素を解説し、自動作業をする機械装置や生産設備の設計などの基礎となる内容を学習する。 | |
| FG34781 | 応用数学B | 1 | 1.0 | 2 | 秋BC | 木2 | 3A209 | 高安 亮紀, 松田 昭博 | 工学へ応用される数学、いわゆる応用数学の中から、偏微分方程式を中心に講述する。固体や流体の力学、その工学応用分野の基礎方程式が偏微分方程式で与えられているため、偏微分方程式は応用上も極めて重要である。事前に「解析学I」「解析学II」「解析学III」を履修済であることが望ましいが、既習事項は本講義内で適宜補うため、必須ではない。 | 応用数学I (FG24321, FG34321)、応用数学 (FG44341, FG54341) 履修者は履修不可。FG24781, FG44391, FG54391 と同一。 |
| FG34791 | 応用数学A | 1 | 2.0 | 2 | 秋A 秋BC | 木1,2 木1 | 3A209 | 長谷川 学, 金川 哲也 | 理工学の諸分野で必要とされる数学的手法であるラプラス変換、フーリエ解析とその応用について講義する。 | 応用数学I (FG24321, FG34321) および応用数学 (FG24731, FG34731, FG44341, FG54341) 履修者は履修不可。FG24791, FG44381, FG54381 と同一。 |
| FG35332 | 専門英語A | 2 | 1.0 | 3 | 春AB | 木6 | 3L206 | 堀 憲之, 浅井 健彦 | 工学システム類生が1,2年で学ぶ数学や工学テーマを取り上げ、主に英語による授業を行う。 | 専門英語II (FG25322, FG35322, FG45702, FG55702) 履修者は履修不可。H30以前入学者対象。FG25332, FG45332, FG55332 と同一。 |
| FG35342 | 専門英語B | 2 | 1.0 | 3 | 秋AB | 水3 | 3A213 | 堀 憲之, プエンテス サンドラ ミレイナ | 主に知的・機能工学システム専攻生が1,2年で学ぶ工学テーマを取り上げ、英語による授業を行う。 | 専門英語II (FG25322, FG35322) 履修者は履修不可。H30以前入学者対象。FG25342 と同一。 |
| FG35371 | ロボット工学 | 1 | 2.0 | 3 | 春AB | 火3,4 | 3L202 | 鈴木 健嗣 | 「ロボット」に関わる理論、要素技術とその集積、システムの目的と実現法について論じる。ここでは、マニピュレータや移動ロボットに関する運動のメカニズムと動力学など、3次元空間における動作と作業に関する基本理論から、視覚、カセンサなどロボット用のセンサ技術、行動の計画と実行、ロボット言語とコントローラ、及び人間機械系の設計など、ロボットの知能化技術について講義する。 | |
| FG35382 | 専門英語演習 | 2 | 1.0 | 3 | 春AB | 水5 | 3L504 | 中内 靖, 山口 友之 | 英語運用能力の測定手段であるTOEIC対策用の教材を用い、リスニング、読解、語法、読解等の能力の強化を行う。 | H30以前入学者対象。専門英語演習 (FG25352, FG35352) 単位修得者は履修不可。FG25382 と同一。 |
| FG39173 | 機能工学システム専門実験 | 3 | 4.5 | 3 | 通年 | 金3-5 | 3L103, 3L108, 3L204, 3L303 | 水谷 孝一, 堀 憲之, 矢野 博明, 北原 格, 若槻 尚斗, 延原 肇 | ●制御系設計、●システムの最適化、●センサとデジタル信号処理、●センサとアナログ信号処理、●画像処理、●メカトロニクスなどに関する実験。 | 主専攻必修科目。FG29173 と同一。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 平成21年度以前の主専攻実験Iと読替え可能。世話人：水谷 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|---------------|------|-----|--------|------|------|--|---|---|--|
| FG39183 | 機能工学システム応用実験 | 3 | 1.5 | 3 | 秋ABC | 火5,6 | 3L103, 3L108, 3L203, 3L204, 3L303, 3L205 | 水谷 孝一, 丸山 勉, 相山 康道, 望山 洋, 鈴木 健嗣, 海老原 格, 前田 祐佳 | 複数の実験テーマから一つを選択して、秋学期を通してテーマ毎にこれまでに修得した広範囲な工学知識を基に、具体的なシステムをデザインする能力を養う。そして、デザインしたシステムを複数のメンバーと協議して完成させる過程で、チームとして特定のプロジェクトをマネジメントする力を養成する。 最終的に提出される課題(レポートやプレゼンテーション)により実験成果を評価する。 ●FPGAによるハードウェア設計, ●ロボットシステム, ●組込システムによるハードウェア設計, ●跳躍機構のデザイン, ●上肢の運動特性の計測, ●コミュニケーションシステムの創作 | FG29183と同一。 主専攻必修科目。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 平成21年度以前の主専攻実験IIと読替え可能。 世話人:水谷 |
| FG39193 | 機能工学システム基礎実験A | 3 | 2.0 | 2 | 春ABC | 月3-5 | 3L103, 3L203, 3L204, 3L205 | 中内 靖, 藪野 浩司, 善甫 啓一, 星野 准一, 澁谷 長史, 大澤 博隆, 山口 友之, 橋本 悠希 | 動的システム、回路とコンピュータ、センサとアクチュエータ、機構などの基礎に関する実験。 | H25以降入学者対象。 FG29193と同一。 主専攻必修科目。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 世話人:中内 |
| FG39203 | 機能工学システム基礎実験B | 3 | 2.0 | 2 | 秋ABC | 月3-5 | 3L103, 3L203, 3L204, 3L205 | 中内 靖, 藪野 浩司, 善甫 啓一, 星野 准一, 澁谷 長史, 大澤 博隆, 山口 友之, 橋本 悠希 | 動的システム、回路とコンピュータ、センサとアクチュエータ、機構などの基礎に関する実験。 | H25以降入学者対象。 FG29203と同一。 主専攻必修科目。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 世話人:中内 |
| FG39918 | 卒業研究I | 8 | 2.0 | 4 | 通年 | 随時 | | 工学システム学類各教員 | 指導教員の指導のもと、研究計画を立案する。立案された計画をまとめた「研究計画書」を作成し、その内容を発表する。 | H24以前入学者対象。 FG29918, FG49918, FG59918と同一。 主専攻必修科目。 |
| FG39928 | 卒業研究II | 8 | 3.0 | 4 | 通年 | 随時 | | 工学システム学類各教員 | 研究計画書を踏まえて卒業研究を進める。卒業論文の題目を決定し、登録する。 | H24以前入学者対象。 FG29928, FG49928, FG59928と同一。 主専攻必修科目。 |
| FG39938 | 卒業研究III | 8 | 3.0 | 4 | 通年 | 随時 | | 工学システム学類各教員 | 卒業研究の研究内容を卒業論文にまとめ提出する。卒業研究発表会において、卒業研究の研究内容を説明する。 | H24以前入学者対象。 FG29938, FG49938, FG59938と同一。 主専攻必修科目。 |
| FG39948 | 卒業研究A | 8 | 4.0 | 4 | 春ABC | 随時 | | 工学システム学類各教員 | 指導教員の指導のもと、研究計画を立案する。立案された計画をまとめた「研究計画書」を作成し、その内容を発表する。 | H25以降入学者対象。 FG29948, FG49948, FG59948と同一。 主専攻必修科目。 (本科目または卒業研究aを履修) |
| FG39958 | 卒業研究B | 8 | 4.0 | 4 | 秋ABC | 随時 | | 工学システム学類各教員 | 研究計画書を踏まえて卒業研究を進める。卒業論文の題目を決定し、登録する。卒業研究の研究内容を卒業論文にまとめ、提出する。卒業研究発表会において、卒業研究の研究内容を説明する。 | H25以降入学者対象。 FG29958, FG49958, FG59958と同一。 主専攻必修科目。 (本科目または卒業研究bを履修) |
| FG39968 | 卒業研究a | 8 | 4.0 | 4 | 秋ABC | 随時 | | 工学システム学類各教員 | 指導教員の指導のもと、研究計画を立案する。立案された計画をまとめた「研究計画書」を作成し、その内容を発表する。 | H25以降入学者対象。学類長が認めたもの。 FG29968, FG49968, FG59968と同一。 主専攻必修科目。 (本科目または卒業研究Aを履修) |
| FG39978 | 卒業研究b | 8 | 4.0 | 4 | 春ABC | 随時 | | 工学システム学類各教員 | 研究計画書を踏まえて卒業研究を進める。卒業論文の題目を決定し、登録する。卒業研究の研究内容を卒業論文にまとめ、提出する。卒業研究発表会において、卒業研究の研究内容を説明する。 | H25以降入学者対象。学類長が認めたもの。 FG29978, FG49978, FG59978と同一。 主専攻必修科目。 (本科目または卒業研究Bを履修) |

工学システム学類(環境開発工学)

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|--------|------|-----|--------|------|------|-------|--------------|---|--|
| FG40114 | 複素関数I | 4 | 1.0 | 2 | 春A | 金1,2 | 3A402 | 安芸 裕久 | 工学への応用を念頭において複素関数論の基礎について学ぶ。内容は、複素数の復習、複素関数とその微分、コーシー・リーマンの方程式、正則関数、初等関数、線積分。 | FG50114と同一。 主専攻必修科目。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG40141 | 確率統計 | 1 | 2.0 | 2 | 春AB | 金5,6 | 3A202 | 古賀 弘樹 | 工学システムを解析する上で有力な道具となる確率論と統計学の基礎を講義する。 | H30以前入学の環境開発工学主専攻、エネルギー工学主専攻の必修科目 FG24211, FG34211, FG50141と同一。 |
| FG40161 | 電磁気学II | 1 | 2.0 | 2 | 春BC | 木1,2 | 3A416 | 石田 政義, 嶋村 耕平 | 電磁気学Iで学んだ知識を基に、物質が存在する場合の取り扱い方、電磁波、応用として電気電子分野における種々の例を取り上げ、幅広い知識と工学的センスを学ぶ。 | FG50161と同一。 主専攻必修科目。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-----------|------|-----|--------|----------|--------------|----------------|--------------------|---|--|
| FG40171 | 熱力学I | 1 | 2.0 | 2 | 春AB | 金3,4 | 3A304 | 金川 哲也, 金子 暁子 | 工学システム学類の基礎物理学として、熱力学は、重要極まりない。本講義は、熱力学の諸概念の精確な理解、および、その厳密な数学表現への習熟を目指し、熱力学の第一法則と第二法則を中心に講述する。これらの法則の言及するところは、高校物理でも既習ではないかと感じるかもしれない。しかしながら、熱力学の数学表現、とくに、微積分に基礎をおく体系には、高校物理との著しい差異がある。そのような、熱力学の世界の奥深さに触れることが、本講義の重要な目的の一つである。 | FG50171と同一。 主専攻必修科目。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG40181 | 熱力学II | 1 | 1.0 | 2 | 秋B | 火1,2 | 3A301 | 金子 暁子, 金川 哲也 | 工学システム学類の基礎物理学として、熱力学は、重要極まりない。本講義は、熱力学の諸概念の精確な理解、および、その厳密な数学表現への習熟を目指し、熱力学ポテンシャルと平衡条件を中心に講述する。これらの単元は、熱力学の応用分野に属し、その理解のためには、偏微分法および微分方程式への理解が欠かせない。熱力学IIに引き続き、熱力学の世界の奥深さに触れることが、本講義の重要な目的の一つである。熱力学Iを履修済であることが望ましい。 | FG50181と同一。 主専攻必修科目。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG40222 | 専門英語B | 2 | 1.0 | 2 | | | | | 演習を中心として、工学分野における英語力を高め、英語でプレゼンテーションを行いレポートを作成する能力を養うことを目的とする。 | 2019年度開講せず。 主専攻必修科目。 平成31年度以降の入学対象。 |
| FG40232 | 専門英語演習 | 2 | 1.0 | 3 | | | | | 英語運用能力の測定手段であるTOEIC対策用の教材を用い、リスニング、読解、語法、読解等の能力の強化を行う。 | 2019年度開講せず。 主専攻必修科目。 平成31年度以降の入学対象。 |
| FG40344 | 計算機序論 | 4 | 2.0 | 2 | 春AB | 水1,2 | 3L504 | 亀田 敏弘, 田中 聖三 | C言語を用いて初歩的な計算機プログラムを作成する能力を身につける。 | FG50434と同一。 主専攻必修科目。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG41241 | 計測工学 | 1 | 2.0 | 2 | 春BC | 木5,6 | 3A304 | 伊達 央, 文字 秀明 | 工業計測の基礎。SI単位系、各種物理量・工業量(長さ、変位、圧力、流量、時間、温度、電圧、電流など)の計測原理と計測装置。計測して得た信号の利用方法など。 | 計測工学(FG41231, FG51231)単位修得者は履修不可。 FG21271, FG31271, FG51241と同一。 |
| FG41251 | フィードバック制御 | 1 | 2.0 | 2 | 秋BC | 木5,6 | 3A301 | 望山 洋 | システム制御の基礎的思考から始め、動的要素のモデル化及び特性の表現方法(伝達関数)フィードバックの概念、制御系の解析方法(周波数特性、安定性)などを学ぶ。 | システム制御工学B(FG21301, FG31301)、システム制御工学(FG41211, FG51211)履修者は履修不可。 FG21311, FG31311, FG51251と同一。 |
| FG41581 | 信頼性工学 | 1 | 2.0 | 3 | 秋AB | 火3,4 | 3L201 | 岡島 敬一 | 機械や構造物をシステム全体としてできるだけ低コストで正常に機能させることを目的として、確率・統計論に基づいて各構成要素やシステムが正常に機能する性質(信頼性)を定量的に評価し、設計、製造、運用へ反映させる手法について講義する。 | FG21331, FG31331, FG51581と同一。 |
| FG41631 | 機器運動学 | 1 | 1.0 | 3 | 秋AB | 木4 | 3L206 | 磯部 大吾郎 | 自動車、船舶、航空機、スペースプレーンおよびロケットなどの輸送機器を中心に、物体の3次元運動の力学について概説する。 | FG51631と同一。 |
| FG41641 | 機械設計 | 1 | 2.0 | 2 | 秋BC | 水3,4 | 3L201 | 岩田 洋夫, 山口 友之, 堀 三計 | 機械システムの設計と実装の手法について紹介する。機械図面、機械要素、運動伝達装置などについて説明する。 | 機械設計工学(FG41621, FG51621)履修者は履修不可。 FG21261, FG31261, FG51641と同一。 |
| FG42231 | 材料学I | 1 | 2.0 | 2 | 春C 秋C | 金3,4 月1,2 | 3A204 3A402 | 新宅 勇一, 河井 昌道 | 構造物に実用されている各種金属材料の結晶構造、平衡状態図、相変化、加工、熱処理に関する基礎知識を説明する。 | 平成30年度以前の入学対象。 平成30年度以前の入学で、建築士受験資格の取得を目指す者は、本科目を履修することが望ましい。 材料学基礎または応用材料学履修者は履修不可。 |
| FG42241 | 材料学II | 1 | 1.0 | 2 | 秋A | 水3,4 | 3L202 | 山田 恭央 | 機能性材料、セラミックス、プラスチック、FRP、ガラス、木材、石材、アスファルト等に関する基礎知識とそれぞれの特性を考慮した用途について概説する。 | 平成31年度限り。 世話人: 松島 |
| FG42251 | コンクリート工学 | 1 | 2.0 | 3 | 春AB | 月5,6 | 3A405 | 金久保 利之 | 主要な構造用材料の一つであるコンクリートの構成材料(セメント、骨材、混和材料、水)、製造方法、諸性質、施工等に関する基礎的事項を、実際に構造物あるいは部材を設計・施工する観点に立って講述する。 | |
| FG42261 | 材料学基礎 | 1 | 1.0 | 2 | 春C | 金3,4 | 3A204 | 新宅 勇一, 河井 昌道 | 金属材料の基礎的な反応における結晶組織の変化を理解するために、代表的な結晶構造と状態図について概説する。 | 材料学I(FG42231, FG52231)履修者は履修不可。 FG22301, FG32301, FG52261と同一。 |
| FG42271 | 応用材料学 | 1 | 1.0 | 2 | 秋C | 月1,2 | 3A402 | 新宅 勇一, 河井 昌道 | 材料の巨視的な変形挙動と微視的なメカニズムの関係について概説し、さらに材料強度を決定づける破壊挙動に関して紹介する。 | 材料学I(FG42231, FG52231)履修者は履修不可。 FG52271と同一。 |
| FG42621 | 複合材料学 | 1 | 2.0 | 3 | 春AB | 金3,4 | 3A308 | 河井 昌道 | 異なる材料を上手に組み合わせることによって、より優れた性能を示す新しい材料を設計することができる。この授業では、複合材料の機械的性質、設計解析および応用に関する基礎事項を学習する。 | FG52621と同一。 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|---------|------|-----|--------|-----------|------------|-------|-----------------------|--|--|
| FG43651 | 産業技術論I | 1 | 1.0 | 3 | 春B | 集中 | | 小島 康平 | 工業製品の例として、ロケットエンジンを題材に、おもに工学的な視点から、製品に求められる機能やその機能が必要とされる考え方を紹介する。 | FG53651と同一。 世話人:横田 |
| FG43661 | 産業技術論II | 1 | 1.0 | 3 | 春C | 集中 | 3A416 | 牛島 栄,尾崎毅志,武若 聡 | 「生産技術による製品革新」と題してマーケットやユーザのニーズの変化と、それを製品に具現化するための製品技術および生産技術に関する話題を種々の具体例を通して紹介する。また、企業環境への取り組みの実態についても紹介する。特に、建設系および機械系産業界における各種技術開発の仕組みについて現状を説明し、持続可能な循環型社会の構築に向けた社会基盤整備および次世代の技術開発の方向性についても解説する。 | FG53661と同一。 世話人:武若,河井 |
| FG43811 | 設計計画論 | 1 | 1.0 | 3 | 春C | 火1,2 | 3B303 | 武若 聡,八十島章 | 社会基盤整備事業および建築構造物を対象とし、計画段階から、設計、契約、施工を経て維持管理までの流れについて概説するとともに、一連の過程における設計・計画に関する基本的事項や考え方を学ぶ。 | 平成27年度以前の入学者対象。 平成27年度以前の入学者で、建築士受験資格の取得を目指す者は、FG43821より、本科目を履修することが望ましい。 |
| FG43821 | 設計計画論 | 1 | 1.5 | 3 | 春C 秋A | 火1,2 火2 | 3B303 | 武若 聡,八十島章,金久保 利之 | 社会基盤整備事業および建築構造物を対象とし、計画段階から、設計、契約、施工を経て維持管理までの流れについて概説するとともに、一連の過程における設計・計画に関する基本的事項や考え方を学ぶ。 | 平成28~30年度入学者対象。設計計画論(FG43811)履修者は履修不可。 |
| FG44131 | 複素関数II | 1 | 1.0 | 2 | 春B | 金1,2 | 3A402 | 文字 秀明 | 工学への応用を念頭において複素関数論について学ぶ。内容は、複素関数Iを引き継ぐもので、コーシーの積分定理、べき級数、特異点、留数定理、実関数への応用など。演習も含む。 | 複素関数II(FG44124, FG54124)履修者は履修不可 FG54131と同一。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG44331 | 電気回路 | 1 | 2.0 | 2 | 春BC | 水4,5 | 3A403 | 森田 昌彦,大澤博隆,高橋 徹,文字 秀明 | 電気・電子回路の基礎知識、解析法等について講義する。線形受動素子、正弦波交流と複素数表示、インピーダンスとアドミタンス、共振回路、相互誘導回路、ブリッジ回路、フィルタ、一般回路の定理、交流電力。 | H30以前入学の知的工学システム主専攻、機能工学システム主専攻の必修科目。 FG20151, FG30151, FG54331と同一。 実務経験教員 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG44354 | 数値計算法 | 4 | 2.0 | 2 | | | | | 科学技術計算の基礎である、連立一次方程式、固有値問題、数値微分、数値積分、微分方程式等の解法を座学とプログラミングで学ぶ。ここで作成する各種プログラムは、サブルーチンとして後の計算機応用科目で利用する。 | FG54354と同一。 2019年度開講せず。 |
| FG44361 | 物理化学概論 | 1 | 1.0 | 2 | 秋A | 水5,6 | 3A202 | 岡島 敬一 | 環境・エネルギー分野にとって物質を構成している原子・分子をミクロな視点で見るとは非常に大切である。本講義では原子の構造や化学結合、分子運動や状態変化などについて理解が深まるよう、量子論の基礎事項について概説する。 | FG54361と同一。 |
| FG44381 | 応用数学A | 1 | 2.0 | 2 | 秋A 秋BC | 木1,2 木1 | 3A209 | 長谷川 学,金川哲也 | 理工学の諸分野で必要とされる数学的手法であるラプラス変換、フーリエ解析とその応用について講義する。 | 応用数学(FG24731, FG34731, FG44341, FG54341)履修者は履修不可。 FG24791, FG34791, FG54381と同一。 |
| FG44391 | 応用数学B | 1 | 1.0 | 2 | 秋BC | 木2 | 3A209 | 高安 亮紀,松田昭博 | 工学へ応用される数学、いわゆる応用数学の中から、偏微分方程式を中心に講述する。固体や流体の力学、その工学応用分野の基礎方程式が偏微分方程式で与えられているため、偏微分方程式は応用上も極めて重要である。事前に「解析学I」「解析学II」「解析学III」を履修済であることが望ましいが、既習事項は本講義内で適宜補うため、必須ではない。 | 応用数学(FG44341, FG54341)履修者は履修不可。 FG24781, FG34781, FG54391と同一。 |
| FG44404 | 数値計算法 | 4 | 3.0 | 2 | 秋ABC | 金1,2 | 3L504 | 羽田野 祐子,松田 哲也,田中 聖三 | 科学技術計算の基礎である、連立一次方程式、固有値問題、数値微分、数値積分、微分方程式等の解法を座学とプログラミングで学ぶ。また、数値計算ソフトウェアを利用し、問題解決する能力を培う。ここで作成する各種プログラムは、サブルーチンとして後の計算機応用科目で利用することがある。 | 数値計算法(FG44354, FG54354)履修者は履修不可。 FG54404と同一。 |
| FG44411 | 熱工学 | 1 | 1.0 | 2 | 秋C | 火1,2 | 3L201 | 西岡 牧人 | 基礎科目としての熱力学の内容を前提とし、その応用(エンジン、圧縮機など)と発展(不可逆性、実在気体、エクセルギなど)について学ぶ。演習も含む。 | 熱工学(FG44324, FG54324)履修者は履修不可。 FG54411と同一。 |
| FG44691 | 伝熱工学 | 1 | 2.0 | 3 | 春AB | 水5,6 | 3L201 | 阿部 豊,金子 暁子 | 伝熱の基礎現象として、定常熱伝導、非定常熱伝導、強制対流熱伝達、自然対流熱伝達、沸騰熱伝達、凝縮熱伝達、ふく射熱伝達などについて概説する。さらに、応用機器として、熱交換機について基礎的事項を説明する。 | FG54691と同一。 |
| FG44701 | 気体力学 | 1 | 1.0 | 3 | 秋AB | 火5 | 3L201 | 嶋村 耕平 | 圧縮性流体の力学について学ぶ。音速、マッハ数、垂直衝撃波、ラバルノズルの断熱流など、高速流体力学の基礎を講述し、航空工学、ロケット工学への応用についても触れる。 | FG54701と同一。 |
| FG45332 | 専門英語A | 2 | 1.0 | 3 | 春AB | 木6 | 3L206 | 堀 憲之,浅井 健彦 | 工学システム学類生が1,2年で学ぶ数学や工学テーマを取り上げ、主に英語による授業を行う。 | 専門英語II(FG25322, FG35322, FG45702, FG55702)履修者は履修不可。H30以前入学者対象。 FG25332, FG35332, FG55332と同一。 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-------------|------|-----|--------|-----------|----------------|----------------|---------------|---|--|
| FG45342 | 専門英語B | 2 | 1.0 | 3 | 秋C | 水1, 2 | 3L206 | 亀田 敏弘, 武若 聡 | 演習を中心として、工学分野における英語力を高め、英語でプレゼンテーションを行いレポートを作成する能力を養うことを目的とする。 | 平成30年度以前の入学者対象。専門英語I1 (FG45702, FG55702) 履修者は履修不可 FG55342と同一。 |
| FG45362 | 専門英語演習 | 2 | 1.0 | 3 | 春AB | 金5 | 3L206 | 山本 亨輔 | 英語運用能力の測定手段であるTOEIC対策用の教材を用い、リスニング、読解、語法、読解等の能力の強化を行う。 | 平成30年度以前の入学者対象。FG55362と同一。専門英語演習 (FG45352, FG55352) 単位修得者は履修不可。 |
| FG45414 | 材料力学I | 4 | 2.0 | 2 | 春BC 秋A | 火1 火3, 4 | 3A202 3A304 | 金久保 利之 | 一軸応力・歪に関する基礎的事項、はりに作用するモーメント、せん断力、はりの変形、長柱の座屈、棒材のねじり、曲がりばり、エネルギーに関する諸定理等を紹介する。演習も行う。 | 平成30年度以前の入学者対象。平成30年度以前の入学者で、建築士受験資格の取得を目指す者は、本科目を履修することが望ましい。材料力学基礎、応用材料力学I 履修者は履修不可。 |
| FG45424 | 材料力学II | 4 | 2.0 | 2 | 秋BC | 火3, 4 | 3L202 | 亀田 敏弘 | 応力とひずみの一般的記述とそれらの関係(構成方程式)について述べる。また各種工学材料の力学的性質についても学ぶ。材料力学Iで学んだ棒材の力学をより一般的な立場から見直す。板の2次元問題も紹介する。 | FG55424と同一。 |
| FG45434 | 構造力学I | 4 | 2.0 | 2 | 秋BC | 金5, 6 | 3L206 | 境 有紀, 八十島 章 | 建築物、橋などの構造設計の際に必要な、トラス、ラーメンなどの構造骨組が地震、風、自重などの外力を受けたときに柱、梁などの構造部材に生じる応力、変形を求める方法について、演習を行いながら解説する。 | FG55434と同一。 |
| FG45451 | 土質力学 | 1 | 2.0 | 3 | 春AB | 木3, 4 | 3A405 | 松島 亘志 | 土の基本特性、土の中の水、地盤内の応力分布、土の圧密など、土質力学の基礎的知識について講述する。 | |
| FG45531 | 振動工学I | 1 | 2.0 | 2 | 秋AB | 水1, 2 | 3A402 | 庄司 学, 松田 哲也 | 1質点系および多質点系に焦点を絞り、振動現象を記述する基礎的理論を学習する。また、工学上極めて重要な共振や振動モードの考え方を学習する。本講義で修得する内容は、次年度開講される振動工学IIにつながるものである。 | FG55531と同一。 |
| FG45554 | 材料力学基礎 | 4 | 1.0 | 2 | 春BC | 火1 | 3A202 | 金久保 利之 | 弾性一次元部材に関して、部材の内力、変形、応力、歪に関する基礎的事項および諸定理等を紹介する。演習も行う。 | 平成30年度以前の入学者対象。材料力学I (FG45414, FG55414) 履修者は履修不可。FG55554と同一。 |
| FG45564 | 応用材料力学I | 4 | 1.0 | 2 | 秋A | 火3, 4 | 3A304 | 金久保 利之 | 弾性性状における不静定梁の応力、変形、長柱の座屈、棒材のねじり、エネルギーに関する諸定理等を紹介する。演習も行う。 | 材料力学I (FG45414, FG55414) 履修者は履修不可。FG55564と同一。 |
| FG45571 | 流体力学基礎 | 1 | 1.0 | 2 | 春AB | 火3 | 3A202 | 京藤 敏達 | 粘性と流れ、定常流と非定常流、層流と乱流など様々な流れを概説する。また、数学的に記述するための座標系、速度、圧力などについて説明し、完全流体の力学(静水圧、質量保存則、ベルヌーイの定理)等について講義する。 | 平成30年度以前の入学者対象。FG55571と同一。流体力学 (FG45541, FG55541) 履修者は履修不可。 |
| FG45581 | 応用流体力学 | 1 | 2.0 | 2 | 秋AB | 金3, 4 | 3A204 | 京藤 敏達 | 流体の基本変形を数学的に記述する方法について学び、ニュートンの第二法則、運動量の保存則から流体の運動方程式を導く。また、ベルヌーイの定理の適用条件、渦あり、渦なし流れなどについて説明する。さらに、粘性流体の運動を記述するナビエ・ストークス方程式を導き、平行平板間の流れ、振動平板上の流れなどの解を求める。相似則についても説明する。 | FG55581と同一。流体力学 (FG45541, FG55541) 履修者は履修不可。 |
| FG45591 | 応用材料力学 | 1 | 2.0 | 2 | | | | | | 2019年度開講せず。 |
| FG45711 | 振動工学II | 1 | 2.0 | 2 | 秋C | 水1, 2 金3, 4 | 3L201 | 庄司 学, 浅井 健彦 | 構造物および機械の動力学の基礎と応用について述べる。1次元および2次元連続体の振動(波動)、往復・回転機械の力学などを内容とする。 | FG55711と同一。平成31年度限り。 |
| FG45721 | 構造力学II | 1 | 2.0 | 3 | 秋AB | 水3, 4 | 3A410 | 磯部 大吾郎, 田中 聖三 | 建設・土木、機械・航空・エネルギーなどの分野で重要な構造要素であるはり、板などにより構成された構造物を対象とした変位法について学ぶ。また、変位法の中でも近似解法の一つである有限要素法について学び、実習を行う。 | FG55721と同一。実務経験教員 |
| FG45731 | 鉄筋コンクリート構造学 | 1 | 2.0 | 3 | 秋ABC | 木5 集中 | 3L206 | 八十島 章 | 鉄筋コンクリート構造の力学的性質と構造特性を解説する。主要な構造部材である柱、梁、耐震壁、柱梁接合部などの部材性状と抵抗機構について講義する。また、鉄筋コンクリート造建物の構造設計の基本的な考え方についても解説する。 | |
| FG45761 | 鋼構造学 | 1 | 2.0 | 3 | 秋ABC | 木6 集中 | 3L207 | 山本 亨輔 | 鋼材の種類と機械的性質。建築架橋の種類と特徴。中心圧縮柱の座屈、梁の横座屈、板要素の座屈、引張、圧縮、曲げ、せん断等に対する構造部材の設計、ボルト、溶接接合、鋼製橋の設計。 | |
| FG45771 | 地盤工学 | 1 | 2.0 | 3 | 秋AB 秋C | 金2 金1, 2 | 3L206 | 松島 亘志 | 土のせん断強度、土圧、地盤の支持力、斜面安定、基礎工、液状化、環境問題など、土質力学および地盤工学の基礎的知識について講述する。 | |
| FG45781 | 電磁気工学 | 1 | 2.0 | 2 | 秋BC | 水5, 6 | 3A410 | 藤野 貴康 | 工学分野における電磁力応用の基礎について学ぶ。電気・力学系、電磁流体工学(MHD)、MHD加速・発電などの基礎を理解する。 | FG55761と同一。 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-------------|------|-----|--------|----------|------------|-------------------------------------|--|---|--|
| FG45821 | 防災工学 | 1 | 1.5 | 3 | 秋A 秋B | 木2 木1,2 | 3L206 | 庄司 学 | 建物や社会基盤施設等の構造システムの防災・減災に直結した、地震、強風、降雨等による大きな外乱に対する広範囲な工学知識を得させ、大きな外乱とそれを受ける構造システムの被害を定量的に捉えるための、確率・統計理論をベースとした専門知識を講述する。 | |
| FG45851 | 流体工学 | 1 | 2.0 | 3 | 春AB | 金1,2 | 3B405 | 文字 秀明, 白川直樹 | 管路および開水路内の非圧縮性流体の流れについて講述する。 | FG55851と同一。 流体工学(FG45741, FG55741)履修者は履修不可。 |
| FG45861 | エネルギー機器学 | 1 | 2.0 | 3 | 秋AB | 水5,6 | 3B203 | 阿部 豊, 金子 暁子, 文字 秀明 | 発電所などの大規模集中型エネルギー施設や冷凍・空調・コジェネレーションなどの小型分散型エネルギー設備などのエネルギー機器において用いられるポンプ・タービンなどのターボ機械やボイラ・熱交換機器などの熱機器の動作原理や熱流体現象について学ぶ。 | FG55861と同一。 エネルギー機器学I(FG55821), エネルギー機器学II(FG55791)履修者は履修不可。 |
| FG45876 | 建築設計製図I | 6 | 3.0 | 3・4 | 春ABC | 月1,2 | 3B406, 3B407 | 金久保 利之, 境有紀, 八十島 章 | 具体的な課題による、建築構造物の設計製図演習を行う。本講義では、木造建築物を主体とする。 | |
| FG45886 | 建築設計製図II | 6 | 2.0 | 3・4 | 秋AB | 月1,2 | 3B406, 3B407 | 金久保 利之, 境有紀, 八十島 章 | 具体的な課題による建築構造物の設計製図演習を行う。本講義では鉄筋コンクリート造建築物(集合住宅を含む)を対象とする。 | |
| FG45896 | 建築設計製図III | 6 | 2.0 | 3・4 | 秋C | 月1-4 | 3B406, 3B407 | 金久保 利之, 境有紀, 八十島 章 | 具体的な課題による建築構造物の設計製図演習を行う。本講義では鉄筋コンクリート造建築物を主体とする。 | |
| FG45901 | 建築設備 | 1 | 2.0 | 3・4 | 秋BC | 火1,2 | 3B303 | 北原 博幸 | 建築設備の基礎理論を論じるとともに、設備の種類と各種設備機器の機能を解説する。空調設備、給排水衛生設備などの計画・設計法の概要を理解させるとともに、地球環境時代における建築設備と持続可能性の関係について考察する。 | 世話人: 金久保 |
| FG45911 | 建築環境工学 | 1 | 2.0 | 2 - 4 | 春AB | 木1,2 | 3B202 | 北原 博幸 | 建築環境工学の基礎理論を論じるとともに、熱・空気・音・光環境の快適性を解説する。快適な建築環境の形成技術を理解させるとともに、地球環境時代における建築環境計画手法と持続可能なライフスタイルについて考察する。 | FG55911と同一。 世話人: 金久保 |
| FG46781 | 環境リモートセンシング | 1 | 1.0 | 3 | 秋AB | 水2 | 3L207 | 武若 聡, 児玉 哲哉, 亀井 雅敏 | リモートセンシングの原理、応用などについて概説する。大気圏、陸域、水域環境などの解析事例を学び、リモートセンシングの有用性を理解する。 | FG56781と同一。 |
| FG46791 | 地圏気圏の環境論 | 1 | 1.0 | 3 | 秋AB | 月3 | 3L202 | 羽田野 祐子 | 環境問題一般についての基礎知識を身につけ、自然環境中における物質移動に関する工学的手法について学ぶ。 | FG56791と同一。 |
| FG46801 | 水環境論 | 1 | 2.0 | 3 | 春AB | 水1,2 | 3B402 | 白川 直樹 | 河川を中心とした水環境について、自然の特性、人間の働きかけ、そして両者の関係という三つの面から学ぶ。 | BC12521と同一。 |
| FG46821 | エネルギー学入門 | 1 | 2.0 | 3 | 春AB | 水3,4 | 3A209 | 鈴木 研悟, 羽田野 祐子 | 世界が持続可能な発展を遂げていくためには経済成長の中で、省資源と環境保全を図る社会を築いていくことが求められている。本講義では、世界およびわが国のエネルギー・環境問題を、資源、経済、環境の点から多角的・総合的に理解し、エネルギー・環境面から持続可能な社会発展の方向性とこれを実現するための技術開発のあり方について学ぶ。 | FG56821と同一。 実務経験教員 |
| FG49583 | 環境開発工学基礎実験A | 3 | 2.0 | 2 | 春ABC | 月3-5 | 3A316, 3A420 | 境 有紀, 文字 秀明, 河井 昌道, 金子 暁子, 八十島 章, 山本 亨輔, 安芸 裕久, 高橋 徹 | 幾つかの基本的なテーマで実験を行い、基本法則、実験技術、レポートの作成方法について学ぶ。さらに製図の基礎と計算機の取り扱いについてもこの中で実習する。 | FG59583と同一。 主専攻必修科目。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG49593 | 環境開発工学基礎実験B | 3 | 2.0 | 2 | 秋ABC | 月3-5 | 3A316, 3A420 | 境 有紀, 文字 秀明, 河井 昌道, 金子 暁子, 八十島 章, 山本 亨輔, 安芸 裕久, 高橋 徹 | 幾つかの基本的なテーマで実験を行い、基本法則、実験技術、レポートの作成方法について学ぶ。さらに製図の基礎と計算機の取り扱いについてもこの中で実習する。 | FG59593と同一。 主専攻必修科目。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG49843 | 環境開発工学専門実験 | 3 | 3.0 | 3 | 春ABC | 火3-6 | | 松島 亘志, 庄司 学, 松田 哲也, 白川 直樹, 金久保 利之, 田中 聖三, 磯部 大吾郎, 浅井 健彦, 武若 聡, 金川 哲也 | 環境開発工学の基礎をなす6分野(材料, 部材強度, 水理, 振動, 熱, 制御)の実験を実施する。実験の計画, データの整理, 結果の考察をレポートにまとめる演習を行う。 | 平成21年度以前の主専攻実験Iと読替え可能。 主専攻必修科目。 |
| FG49863 | 環境開発工学応用実験 | 3 | 3.0 | 3 | 秋ABC | 金3-6 | 3A202, 3B401, 3B406, 3A203 | 石田 政義, 新宅 勇一, 亀田 敏弘, 横田 茂, 金川 哲也, 堀 三計 | システム及び機器のデザイン能力・チームワークを養うために、ソーラー自転車の設計・製作・運用、マイコン制御の自律飛行船の設計・製作・運用を行う。 | 平成21年度以前の主専攻実験IIと読替え可能。 FG59863と同一。 主専攻必修科目。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG49918 | 卒業研究I | 8 | 2.0 | 4 | 通年 | 随時 | | 工学システム学類各教員 | 指導教員の指導のもと、研究計画を立案する。立案された計画をまとめた「研究計画書」を作成し、その内容を発表する。 | H24以前入学者対象。 FG29918, FG39918, FG59918と同一。 主専攻必修科目。 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|---------|------|-----|--------|------|-----|----|-------------|---|--|
| FG49928 | 卒業研究I | 8 | 3.0 | 4 | 通年 | 随時 | | 工学システム学類各教員 | 研究計画書を踏まえて卒業研究を進める。卒業論文の題目を決定し、登録する。 | H24以前入学者対象。FG29928, FG39928, FG59928と同一。主専攻必修科目。 |
| FG49938 | 卒業研究III | 8 | 3.0 | 4 | 通年 | 随時 | | 工学システム学類各教員 | 卒業研究の研究内容を卒業論文にまとめ提出する。卒業研究発表会において、卒業研究の研究内容を説明する。 | H24以前入学者対象。FG29938, FG39938, FG59938と同一。主専攻必修科目。 |
| FG49948 | 卒業研究A | 8 | 4.0 | 4 | 春ABC | 随時 | | 工学システム学類各教員 | 指導教員の指導のもと、研究計画を立案する。立案された計画をまとめた「研究計画書」を作成し、その内容を発表する。 | H25以降入学者対象。FG29948, FG39948, FG59948と同一。主専攻必修科目。(本科目または卒業研究aを履修) |
| FG49958 | 卒業研究B | 8 | 4.0 | 4 | 秋ABC | 随時 | | 工学システム学類各教員 | 研究計画書を踏まえて卒業研究を進める。卒業論文の題目を決定し、登録する。卒業研究の研究内容を卒業論文にまとめ、提出する。卒業研究発表会において、卒業研究の研究内容を説明する。 | H25以降入学者対象。FG29958, FG39958, FG59958と同一。主専攻必修科目。(本科目または卒業研究bを履修) |
| FG49968 | 卒業研究a | 8 | 4.0 | 4 | 秋ABC | 随時 | | 工学システム学類各教員 | 指導教員の指導のもと、研究計画を立案する。立案された計画をまとめた「研究計画書」を作成し、その内容を発表する。 | H25以降入学者対象。学類長が認めたもの。FG29968, FG39968, FG59968と同一。主専攻必修科目。(本科目または卒業研究Aを履修) |
| FG49978 | 卒業研究b | 8 | 4.0 | 4 | 春ABC | 随時 | | 工学システム学類各教員 | 研究計画書を踏まえて卒業研究を進める。卒業論文の題目を決定し、登録する。卒業研究の研究内容を卒業論文にまとめ、提出する。卒業研究発表会において、卒業研究の研究内容を説明する。 | H25以降入学者対象。学類長が認めたもの。FG29978, FG39978, FG59978と同一。主専攻必修科目。(本科目または卒業研究Bを履修) |

工学システム学類(エネルギー工学)

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-----------|------|-----|--------|------|------|-------|--------------|---|---|
| FG50114 | 複素関数I | 4 | 1.0 | 2 | 春A | 金1,2 | 3A402 | 安芸 裕久 | 工学への応用を念頭において複素関数論の基礎について学ぶ。内容は、複素数の復習、複素関数とその微分、コーシー・リーマンの方程式、正則関数、初等関数、線積分。 | FG40114と同一。主専攻必修科目。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG50141 | 確率統計 | 1 | 2.0 | 2 | 春AB | 金5,6 | 3A202 | 古賀 弘樹 | 工学システムを解析する上で有力な道具となる確率論と統計学の基礎を講義する。 | H30以前入学の環境開発工学主専攻、エネルギー工学主専攻の必修科目。FG24211, FG34211, FG40141と同一。 |
| FG50161 | 電磁気学II | 1 | 2.0 | 2 | 春BC | 木1,2 | 3A416 | 石田 政義, 嶋村 耕平 | 電磁気学Iで学んだ知識を基に、物質が存在する場合の取り扱い方、電磁波、応用として電気電子分野における種々の例を取り上げ、幅広い知識と工学的センスを学ぶ。 | FG40161と同一。主専攻必修科目。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG50171 | 熱力学I | 1 | 2.0 | 2 | 春AB | 金3,4 | 3A304 | 金川 哲也, 金子 暁子 | 物理学の基礎分野としての「熱力学」を第1法則、第2法則を中心に、その概念を理解することを目的として解説する。 | FG40171と同一。主専攻必修科目。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG50181 | 熱力学II | 1 | 1.0 | 2 | 秋B | 火1,2 | 3A301 | 金子 暁子, 金川 哲也 | 物理学の基礎分野としての「熱力学」を第1法則、第2法則の応用を中心に、その概念を理解することを目的として解説する。事前に「熱力学I」を履修していることが望ましい。 | FG40181と同一。主専攻必修科目。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG50222 | 専門英語B | 2 | 1.0 | 2 | | | | | 演習を中心として、工学分野における英語力を高め、英語でプレゼンテーションを行いレポートを作成する能力を養うことを目的とする。 | 平成31年度以降の入学者対象。2019年度開講せず。主専攻必修科目。 |
| FG50232 | 専門英語演習 | 2 | 1.0 | 3 | | | | | 英語運用能力の測定手段であるTOEIC対策用の教材を用い、リスニング、語彙、語法、読解等の能力の強化を行う。 | 2019年度開講せず。主専攻必修科目。平成31年度以降の入学者対象。 |
| FG50434 | 計算機序論 | 4 | 2.0 | 2 | 春AB | 水1,2 | 3L504 | 亀田 敏弘, 田中 聖三 | C言語を用いて初歩的な計算機プログラムを作成する能力を身につける。 | FG40344と同一。主専攻必修科目。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG51241 | 計測工学 | 1 | 2.0 | 2 | 春BC | 木5,6 | 3A304 | 伊達 央, 文字 秀明 | 工業計測の基礎。SI単位系、各種物理量・工業量(長さ、変位、圧力、流量、時間、温度、電圧、電流など)の計測原理と計測装置。計測して得た信号の利用方法など。 | 計測工学(FG41231, FG51231)単位修得者は履修不可。FG21271, FG31271, FG41241と同一。 |
| FG51251 | フィードバック制御 | 1 | 2.0 | 2 | 秋BC | 木5,6 | 3A301 | 望山 洋 | システム制御の基礎的思考方から始め、動的要素のモデル化及び特性の表現方法(伝達関数)フィードバックの概念、制御系の解析方法(周波数特性、安定性)などを学ぶ。 | システム制御工学I(FG21251, FG31251)、システム制御工学B(FG21301, FG31301)履修者、システム制御工学(FG41211, FG51211)履修者は履修不可。FG21311, FG31311, FG41251と同一。 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|---------|------|-----|--------|-----------|------------|-------|--------------------------|---|--|
| FG51581 | 信頼性工学 | 1 | 2.0 | 3 | 秋AB | 火3,4 | 3L201 | 岡島 敬一 | 機械や構造物をシステム全体としてできるだけ低コストで正常に機能させることを目的として、確率・統計論に基づいて各構成要素やシステムが正常に機能する性質(信頼性)を定量的に評価し、設計、製造、運用へ反映させる手法について講義する。 | FG21331, FG31331, FG41581と同一。 |
| FG51631 | 機器運動学 | 1 | 1.0 | 3 | 秋AB | 木4 | 3L206 | 磯部 大吾郎 | 自動車、船舶、航空機、スペースプレーンおよびロケットなどの輸送機器を中心に、物体の3次元運動の力学について概説する。 | FG41631と同一。 |
| FG51641 | 機械設計 | 1 | 2.0 | 2 | 秋BC | 水3,4 | 3L201 | 岩田 洋夫, 山口友之, 堀 三計 | 機械システムの設計と実装の手法について紹介する。機械図面、機械要素、運動伝達装置などについて説明する。 | FG21261, FG31261, FG41641と同一。 機械設計工学(FG41621, FG51621)履修者は履修不可。 |
| FG52261 | 材料学基礎 | 1 | 1.0 | 2 | 春C | 金3,4 | 3A204 | 新宅 勇一, 河井昌道 | 金属材料の基礎的な反応における結晶組織の変化を理解するために、代表的な結晶構造と状態図について概説する。 | 材料学I(FG42231, FG52231)履修者は履修不可。H30以前入学者対象。 FG22301, FG32301, FG42261と同一。 |
| FG52271 | 応用材料学 | 1 | 1.0 | 2 | 秋C | 月1,2 | 3A402 | 新宅 勇一, 河井昌道 | 材料の巨視的な変形挙動と微視的なメカニズムの関係について概説し、さらに材料強度を決定づける破壊挙動に関して紹介する。 | 材料学I(FG42231, FG52231)履修者は履修不可。 FG42271と同一。 |
| FG52281 | 電磁材料学 | 1 | 1.0 | 3 | 秋C | 集中 | | 森 利之 | 電気・電子分野で使用されている材料物性を理解するための基礎理論、材料の種類と性質、その使われ方について概説する。 | 材料学II(FG52241)履修者は履修不可。 電気学会寄付講義。世話人:藤野 |
| FG52621 | 複合材料学 | 1 | 2.0 | 3 | 春AB | 金3,4 | 3A308 | 河井 昌道 | 異なる材料を上手に組み合わせることによって、より優れた性能を示す新しい材料を設計することができる。この授業では、複合材料の機械的性質、設計解析および応用に関する基礎事項を学習する。 | FG42621と同一。 |
| FG53651 | 産業技術論I | 1 | 1.0 | 3 | 春B | 集中 | | 小島 康平 | 工業製品の例として、ロケットエンジンを題材に、おもに工学的な視点から、製品に求められる機能やその機能が必要とされる考え方を紹介する。 | FG43651と同一。 世話人:横田 |
| FG53661 | 産業技術論II | 1 | 1.0 | 3 | 春C | 集中 | 3A416 | 牛島 栄, 尾崎毅志, 武若 聡 | 「生産技術による製品革新」と題してマーケットやユーザのニーズの変化と、それを製品に具現化するための製品技術および生産技術に関する話題を種々の具体例を通して紹介する。また、企業の実態への取り組みの実態についても紹介する。特に、建設系および機械系産業界における各種技術開発の仕組みについて現状を説明し、持続可能な循環型社会の構築に向けた社会基盤整備および次世代の技術開発の方向性についても解説する。 | FG43661と同一。 世話人:武若, 河井 |
| FG54131 | 複素関数II | 1 | 1.0 | 2 | 春B | 金1,2 | 3A402 | 文字 秀明 | 工学への応用を念頭において複素関数論について学ぶ。内容は、複素関数Iを引き継ぐもので、コーシーの積分定理、べき級数、特異点、留数定理、実関数への応用など。演習も含む。 | 複素関数II(FG44124, FG54124)履修者は履修不可 FG44131と同一。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG54331 | 電気回路 | 1 | 2.0 | 2 | 春BC | 水4,5 | 3A403 | 森田 昌彦, 大澤博隆, 高橋 徹, 文字 秀明 | 電気・電子回路の基礎知識、解析法等について講義する。線形受動素子、正弦波交流と複素数表示、インピーダンスとアドミタンス、共振回路、相互誘導回路、ブリッジ回路、フィルタ、一般回路の定理、交流電力。 | H30年以前入学の知的工学システム主専攻、機能工学システム主専攻の必修科目。 FG20151, FG30151, FG44331と同一。 実務経験教員 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG54354 | 数値計算法 | 4 | 2.0 | 2 | | | | | 科学技術計算の基礎である、連立一次方程式、固有値問題、数値微分、数値積分、微分方程式等の解法を座学とプログラミングで学ぶ。ここで作成する各種プログラムは、サブルーチンとして後の計算機応用科目で利用する。 | FG44354と同一。 2019年度開講せず。 |
| FG54361 | 物理化学概論 | 1 | 1.0 | 2 | 秋A | 水5,6 | 3A202 | 岡島 敬一 | 環境・エネルギー分野にとって物質を構成している原子・分子をミクロな視点で見ることが非常に大切である。本講義では原子の構造や化学結合、分子運動や状態変化などについて理解が深まるよう、量子論の基礎事項について概説する。 | FG44361と同一。 |
| FG54381 | 応用数学A | 1 | 2.0 | 2 | 秋A 秋BC | 木1,2 木1 | 3A209 | 長谷川 学, 金川哲也 | 理工学の諸分野で必要とされる数学的手法であるラプラス変換、フーリエ解析とその応用について講義する。 | 応用数学I(FG24321, FG34321)および応用数学(FG24731, FG34731, FG44341, FG54341)履修者は履修不可。 FG24791, FG34791, FG44381と同一。 |
| FG54391 | 応用数学B | 1 | 1.0 | 2 | 秋BC | 木2 | 3A209 | 高安 亮紀, 松田昭博 | 工学へ応用される数学、いわゆる応用数学の中から、偏微分方程式を中心に講述する。固体や流体の力学、その工学応用分野の基礎方程式が偏微分方程式で与えられているため、偏微分方程式は応用上も極めて重要である。事前に「解析学I」「解析学II」「解析学III」を履修済であることが望ましいが、既習事項は本講義内で適宜補うため、必須ではない。 | 応用数学I(FG24321, FG34321)、応用数学(FG44341, FG54341)履修者は履修不可。 FG24781, FG34781, FG44391と同一。 |
| FG54404 | 数値計算法 | 4 | 3.0 | 2 | 秋ABC | 金1,2 | 3L504 | 羽田野 祐子, 松田 哲也, 田中聖三 | 科学技術計算の基礎である、連立一次方程式、固有値問題、数値微分、数値積分、微分方程式等の解法を座学とプログラミングで学ぶ。また、数値計算ソフトウェアを利用し、問題解決する能力を培う。ここで作成する各種プログラムは、サブルーチンとして後の計算機応用科目で利用することがある。 | 数値計算法(FG44354, FG54354)履修者は履修不可。 FG44404と同一。 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-------------|------|-----|--------|------|--------------|-------|---------------|---|---|
| FG54411 | 熱工学 | 1 | 1.0 | 2 | 秋C | 火1,2 | 3L201 | 西岡 牧人 | 基礎科目としての熱力学の内容を前提とし、その応用(エンジン, 圧縮機など)と発展(不可逆性, 実在気体, エクセルギなど)について学ぶ。演習も含む。 | 熱工学 (FG44324, FG54324) 履修者は履修不可。FG44411と同一。 |
| FG54691 | 伝熱工学 | 1 | 2.0 | 3 | 春AB | 水5,6 | 3L201 | 阿部 豊, 金子 暁子 | 伝熱の基礎現象として, 定常熱伝導, 非定常熱伝導, 強制対流熱伝達, 自然対流熱伝達, 沸騰熱伝達, 凝縮熱伝達, ふく射熱伝達などについて概説する。さらに, 応用機器として, 熱交換機について基礎的事項を説明する。 | FG44691と同一。 |
| FG54701 | 気体力学 | 1 | 1.0 | 3 | 秋AB | 火5 | 3L201 | 嶋村 耕平 | 圧縮性流体の力学について学ぶ。音速, マッハ数, 垂直衝撃波, ラバールノズルの断熱流など, 高速流体力学の基礎を講述し, 航空工学, ロケット工学への応用についても触れる。 | FG44701と同一。 |
| FG54731 | 電子回路 | 1 | 2.0 | 3 | 春AB | 月1,2 | 3L201 | 水谷 孝一, 前田 祐佳 | アナログ電子回路に関する講義(一部演習)を行う。主な内容は, ダイオード, トランジスタ, FETの素子特性, 小信号増幅回路, 帰還回路, 電力増幅回路, OPアンプ回路, 発振回路など。 | FG24341, FG34341と同一。 |
| FG55332 | 専門英語A | 2 | 1.0 | 3 | 春AB | 木6 | 3L206 | 堀 憲之, 浅井 健彦 | 工学システム学類生が1,2年で学ぶ数学や工学テーマを取り上げ, 主に英語による授業を行う。 | 専門英語II (FG25322, FG35322, FG45702, FG55702) 履修者は履修不可。H30以前入学者対象。FG25332, FG35332, FG45332と同一。 |
| FG55342 | 専門英語B | 2 | 1.0 | 3 | 秋C | 水1,2 | 3L206 | 亀田 敏弘, 武若 聡 | 演習を中心として, 工学分野における英語力を高め, 英語でプレゼンテーションを行いレポートを作成する能力を養うことを目的とする。 | 平成30年度以前の入学者対象。専門英語II (FG45702, FG55702) 履修者は履修不可。FG45342と同一。 |
| FG55362 | 専門英語演習 | 2 | 1.0 | 3 | 春AB | 金5 | 3L206 | 山本 亨輔 | 英語運用能力の測定手段であるTOEIC対策用の教材を用い, リスニング, 語彙, 語法, 読解等の能力の強化を行う。 | 平成30年度以前の入学者対象。FG45362と同一。専門英語演習 (FG45352, FG55352) 単位修得者は履修不可。 |
| FG55424 | 材料力学II | 4 | 2.0 | 2 | 秋BC | 火3,4 | 3L202 | 亀田 敏弘 | 応力とひずみの一般的記述とそれらの関係(構成方程式)について述べる。また各種工学材料の力学的性質についても学ぶ。材料力学Iで学んだ棒材の力学をより一般的な立場から見直す。板の2次元問題も紹介する。 | FG45424と同一。 |
| FG55434 | 構造力学I | 4 | 2.0 | 2 | 秋BC | 金5,6 | 3L206 | 境 有紀, 八十島 章 | 建築物, 橋などの構造設計の際に必要な, トラス, ラーメンなどの構造骨組が地震, 風, 自重などの外力を受けたときに柱, 梁などの構造部材に生じる応力, 変形を求める方法について, 演習を行いながら解説する。 | FG45434と同一。 |
| FG55441 | パワーエレクトロニクス | 1 | 2.0 | 3 | 春AB | 火1,2 | 3A209 | 安芸 裕久 | 家電製品から電力系統まで広く応用されているパワーエレクトロニクスについて, その基礎・原理, デバイス, 変換回路および応用の実例について解説する。 | 実務経験教員 |
| FG55531 | 振動工学I | 1 | 2.0 | 2 | 秋AB | 水1,2 | 3A402 | 庄司 学, 松田 哲也 | I質点系および多質点系に焦点を絞り, 振動現象を記述する基礎的理論を学習する。また, 工学上極めて重要な共振や振動モードの考え方を学習する。本講義で修得する内容は, 次年度開講される振動工学IIにつながるものである。 | FG45531と同一。 |
| FG55554 | 材料力学基礎 | 4 | 1.0 | 2 | 春BC | 火1 | 3A202 | 金久保 利之 | 弾性一次元部材に関して, 部材の内力, 変形, 応力, 歪に関する基礎的事項および諸定理等を紹介する。演習も行う。 | 平成30年度以前の入学者対象。材料力学I (FG45414, FG55414) 履修者は履修不可。FG45554と同一。 |
| FG55564 | 応用材料力学I | 4 | 1.0 | 2 | 秋A | 火3,4 | 3A304 | 金久保 利之 | 弾性性状における不静定梁の応力, 変形, 長柱の座屈, 棒材のねじり, エネルギーに関する諸定理等を紹介する。演習も行う。 | 材料力学I (FG45414, FG55414) 履修者は履修不可。FG45564と同一。 |
| FG55571 | 流体力学基礎 | 1 | 1.0 | 2 | 春AB | 火3 | 3A202 | 京藤 敏達 | 粘性と流れ, 定常流と非定常流, 層流と乱流など様々な流れを概説する。また, 数学的に記述するための座標系, 速度, 圧力などについて説明し, 完全流体の力学(静水圧, 質量保存則, ベルヌーイの定理)等について講義する。 | 平成30年度以前の入学者対象。FG45571と同一。流体力学 (FG45541, FG55541) 履修者は履修不可。 |
| FG55581 | 応用流体力学 | 1 | 2.0 | 2 | 秋AB | 金3,4 | 3A204 | 京藤 敏達 | 流体の基本変形を数学的に記述する方法について学び, ニュートンの第二法則, 運動量の保存則から流体の運動方程式を導く。また, ベルヌーイの定理の適用条件, 渦あり, 渦なし流れなどについて説明する。さらに, 粘性流体の運動を記述するナビエ・ストークス方程式を導き, 平行平板間の流れ, 振動平板上の流れなどの解を求める。相似則についても説明する。 | FG45581と同一。流体力学 (FG45541, FG55541) 履修者は履修不可。 |
| FG55711 | 振動工学II | 1 | 2.0 | 3 | 秋C | 水1,2 金3,4 | 3L201 | 庄司 学, 浅井 健彦 | 構造物および機械の動力学の基礎と応用について述べる。1次元および2次元連続体の振動(波動), 往復・回転機械の力学などを内容とする。 | FG45711と同一。平成31年度限り。 |
| FG55721 | 構造力学II | 1 | 2.0 | 3 | 秋AB | 水3,4 | 3A410 | 磯部 大吾郎, 田中 聖三 | 建設・土木, 機械・航空・エネルギーなどの分野で重要な構造要素であるはり, 板などにより構成された構造物を対象とした変位法について学ぶ。また, 変位法の中でも近似解法の一つである有限要素法について学び, 実習を行う。 | FG45721と同一。実務経験教員 |
| FG55761 | 電磁気工学 | 1 | 2.0 | 2 | 秋BC | 水5,6 | 3A410 | 藤野 貴康 | 工学分野における電磁力応用の基礎について学ぶ。電気・力学系, 電磁流体力学 (MHD), MHD加速・発電などの基礎を理解する。 | FG45781と同一。 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|--------------|------|-----|--------|------|------|----------------------------|--|--|--|
| FG55774 | 電力工学 | 4 | 2.0 | 3 | 秋AB | 月1,2 | 3L207 | 石田 政義 | 電気工学において基本となる、回転機および送変電に関する基本原理とシステム解析などについて、電磁気学からの延長として概説する。適宜演習を行いながら進める。 | 実務経験教員 |
| FG55791 | エネルギー機器学II | 1 | 1.0 | 3 | 秋B | 水5,6 | 3B406 | 阿部 豊, 金子 暁子 | 火力発電所や原子力発電所などの大規模集中型エネルギー施設における蒸気タービンやボイラなどのエネルギー機器、ならびに冷凍・空調・コジェネレーションなどの小型分散型エネルギー設備における交換機器などの熱機器の原理や構成、流体・熱・力学エネルギー相互間の関わり、さらには新エネルギーや地球環境問題とエネルギー機器の関わりなどについて学ぶ。 | 平成31年度限り。 |
| FG55821 | エネルギー機器学I | 1 | 1.0 | 3 | 秋A | 水5,6 | 3B203 | 文字 秀明 | ポンプ、タービン、送風機、圧縮機などのターボ機械の作動原理、性能の表示法、運転の際に生じる特異現象などについて学ぶ。 | エネルギー機器学I (FG55781) 履修者は履修不可。 平成31年度限り。 |
| FG55851 | 流体力学 | 1 | 2.0 | 3 | 春AB | 金1,2 | 3B405 | 文字 秀明, 白川 直樹 | 管路および開水路内の非圧縮性流体の流れについて講述する。 | FG45851と同一。 流体力学 (FG45741, FG55741) 履修者は履修不可。 |
| FG55861 | エネルギー機器学 | 1 | 2.0 | 3 | 秋AB | 水5,6 | 3B203 | 阿部 豊, 金子 暁子, 文字 秀明 | 発電所などの大規模集中型エネルギー施設や冷凍・空調・コジェネレーションなどの小型分散型エネルギー設備などのエネルギー機器において用いられるポンプ・タービンなどのターボ機械やボイラ・熱交換機器などの熱機器の動作原理や熱流体現象について学ぶ。 | FG45861と同一。 エネルギー機器学I (FG55821), エネルギー機器学II (FG55791) 履修者は履修不可。 |
| FG55871 | 水素エネルギー工学 | 1 | 1.0 | 3 | 秋AB | 水1 | 3L206 | 石田 政義 | 水素エネルギー利用システムにおいてキーテクノロジーとなる燃料電池に関して、原理、電気化学に基づいた理想効率・起電力の計算方法、電圧-電流特性を理解するとともに、実際の機器としての応用と最新の動向を学ぶことを目的とする。 | 燃料電池工学 (FG55831) 履修者は履修不可。 実務経験教員 |
| FG55881 | 燃焼工学 | 1 | 2.0 | 3 | 秋AB | 火1,2 | 3L206 | 西岡 牧人, 高橋 栄一 | 燃焼の基礎と応用を学ぶ。特に、火炎の基本的性質や汚染物質の生成機構、各種内燃機関中で生じる燃焼現象について詳しく解説する。 | |
| FG55911 | 建築環境工学 | 1 | 2.0 | 2-4 | 春AB | 木1,2 | 3B202 | 北原 博幸 | 建築環境工学の基礎理論を論じるとともに、熱・空気・音・光環境の快適性を解説する。快適な建築環境の形成技術を理解させるとともに、地球環境時代における建築環境計画手法と持続可能なライフスタイルについて考察する。 | FG45911と同一。 世話人: 金久保 |
| FG56781 | 環境リモートセンシング | 1 | 1.0 | 3-4 | 秋AB | 水2 | 3L207 | 武若 聡, 児玉 哲哉, 亀井 雅敏 | リモートセンシングの原理、応用などについて概説する。大気圏、陸域、水域環境などの解析事例を学び、リモートセンシングの有用性を理解する。 | FG46781と同一。 |
| FG56791 | 地圏気圏の環境論 | 1 | 1.0 | 3-4 | 秋AB | 月3 | 3L202 | 羽田野 祐子 | 環境問題一般についての基礎知識を身につけ、自然環境中における物質移動に関する工学的手法について学ぶ。 | FG46791と同一。 |
| FG56821 | エネルギー学入門 | 1 | 2.0 | 3 | 春AB | 水3,4 | 3A209 | 鈴木 研悟, 羽田野 祐子 | 世界が持続可能な発展を遂げていくためには経済成長の中で、省資源と環境保全を図る社会を築いていくことが求められている。本講義では、世界およびわが国のエネルギー・環境問題を、資源、経済、環境の点から多角的・総合的に理解し、エネルギー・環境面から持続可能な社会発展の方向性とこれを実現するための技術開発のあり方について学ぶ。 | FG46821と同一。 実務経験教員 |
| FG59583 | エネルギー工学基礎実験A | 3 | 2.0 | 2 | 春ABC | 月3-5 | 3A316, 3A420 | 境 有紀, 文字 秀明, 河井 昌道, 金子 暁子, 八十島 章, 山本 亨輔, 安芸 裕久, 高橋 徹 | 幾つかの基本的なテーマで実験を行い、基本法則、実験技術、レポートの作成方法について学ぶ。さらに製図の基礎と計算機の取り扱いについてもこの中で実習する。 | FG49583と同一。 主専攻必修科目。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG59593 | エネルギー工学基礎実験B | 3 | 2.0 | 2 | 秋ABC | 月3-5 | 3A316, 3A420 | 境 有紀, 文字 秀明, 河井 昌道, 金子 暁子, 八十島 章, 山本 亨輔, 安芸 裕久, 高橋 徹 | 幾つかの基本的なテーマで実験を行い、基本法則、実験技術、レポートの作成方法について学ぶ。さらに製図の基礎と計算機の取り扱いについてもこの中で実習する。 | FG49593と同一。 主専攻必修科目。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG59843 | エネルギー工学専門実験 | 3 | 3.0 | 3 | 春ABC | 火3-6 | | 松島 亘志, 西岡 牧人, 阿部 豊, 金子 暁子, 藤野 貴康, 岡島 敬一, 磯部 大吾郎, 浅井 健彦, 横田 茂 | エネルギー工学専攻分野の基礎的なテーマについて実験知識および実験技術を身につけ、データの整理、解析、考察を通して、実験の結果をレポートにまとめる力を養う。 | 平成21年度以前の主専攻実験Iと読替え可能。 主専攻必修科目。 |
| FG59863 | エネルギー工学応用実験 | 3 | 3.0 | 3 | 秋ABC | 金3-6 | 3A202, 3B401, 3B406, 3A203 | 石田 政義, 新宅 勇一, 亀田 敏弘, 横田 茂, 金川 哲也, 堀 三計 | システム及び機器のデザイン能力・チームワークを養うために、ソーラー自転車の設計・製作・運用、マイコン制御の自律飛行船の設計・製作・運用を行う。 | 平成21年度以前の主専攻実験IIと読替え可能。 FG49863と同一。 主専攻必修科目。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 |
| FG59918 | 卒業研究I | 8 | 2.0 | 4 | 通年 | 随時 | | 工学システム学類各教員 | 指導教員の指導のもと、研究計画を立案する。立案された計画をまとめた「研究計画書」を作成し、その内容を発表する。 | H24以前入学者対象。 FG29918, FG39918, FG49918と同一。 主専攻必修科目。 |
| FG59928 | 卒業研究II | 8 | 3.0 | 4 | 通年 | 随時 | | 工学システム学類各教員 | 研究計画書を踏まえて卒業研究を進める。卒業論文の題目を決定し、登録する。 | H24以前入学者対象。 FG29928, FG39928, FG49928と同一。 主専攻必修科目。 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|---------|------|-----|--------|------|------|----|-------------|---|--|
| FG59938 | 卒業研究III | | 8 | 3.0 | 4 | 通年 | 随時 | 工学システム学類各教員 | 卒業研究の研究内容を卒業論文にまとめ提出する。卒業研究発表会において、卒業研究の研究内容を説明する。 | H24以降入学者対象。FG29938, FG39938, FG49938と同一。主専攻必修科目。 |
| FG59948 | 卒業研究A | | 8 | 4.0 | 4 | 春ABC | 随時 | 工学システム学類各教員 | 指導教員の指導のもと、研究計画を立案する。立案された計画をまとめた「研究計画書」を作成し、その内容を発表する。 | H25以降入学者対象。FG29948, FG39948, FG49948と同一。主専攻必修科目。(本科目または卒業研究aを履修) |
| FG59958 | 卒業研究B | | 8 | 4.0 | 4 | 秋ABC | 随時 | 工学システム学類各教員 | 研究計画書を踏まえて卒業研究を進める。卒業論文の題目を決定し、登録する。卒業研究の研究内容を卒業論文にまとめ、提出する。卒業研究発表会において、卒業研究の研究内容を説明する。 | H25以降入学者対象。FG29958, FG39958, FG49958と同一。主専攻必修科目。(本科目または卒業研究bを履修) |
| FG59968 | 卒業研究a | | 8 | 4.0 | 4 | 秋ABC | 随時 | 工学システム学類各教員 | 指導教員の指導のもと、研究計画を立案する。立案された計画をまとめた「研究計画書」を作成し、その内容を発表する。 | H25以降入学者対象。学類長が認めたもの。FG29968, FG39968, FG49968と同一。主専攻必修科目。(本科目または卒業研究Aを履修) |
| FG59978 | 卒業研究b | | 8 | 4.0 | 4 | 春ABC | 随時 | 工学システム学類各教員 | 研究計画書を踏まえて卒業研究を進める。卒業論文の題目を決定し、登録する。卒業研究の研究内容を卒業論文にまとめ、提出する。卒業研究発表会において、卒業研究の研究内容を説明する。 | H25以降入学者対象。学類長が認めたもの。FG29978, FG39978, FG49978と同一。主専攻必修科目。(本科目または卒業研究Bを履修) |

工学システム学類(その他)(JTP学生のみ対象)

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 | |
|---------|------------|------|-----|--------|------|------|----|-------------|---|---|----------|
| FG06041 | 工学システム特別講義 | | 1 | 1.0 | 1 | 秋AB | 水3 | 3A213 | 堀 憲之, プエンテス サンドラ ミレイナ | This course will review some introductory topics relevant to engineering, such as human-computer interaction, measurement, and control. | JTP only |
| FG06058 | 特別研究A | | 8 | 4.0 | 1 | 春ABC | 随時 | 工学システム学類各教員 | The students will conduct individual research under the supervision of a professor. | JTP only | |
| FG06068 | 特別研究B | | 8 | 4.0 | 1 | 秋ABC | 随時 | 工学システム学類各教員 | The students will conduct individual research under the supervision of a professor. | JTP only | |